

FM評価システム

Ver. 1. 01

管理者マニュアル

データ管理編

2013年3月



有限会社 アルファ・アソシエイツ



1. 本資料の目的

管理者のみが使用できるFM評価システムの機能のうち、データ管理機能を明示し、利用の仕方をご説明し、実際に管理業務で活用していただくことを、目的とします。評価項目管理に関しては、管理者マニュアル 評価項目管理編 をご参照ください。

FM評価システムは、企業・団体のFM活動の実態を総合的に診断評価し、問題点を切り出すための、診断評価システムです。

評価の開始前に、新しいセッションを作成し評価環境を整える必要があります。これらの諸設定を管理者権限で行います。

この資料では、まず、セッションの新設の方法をご説明し、次に、インフラ（FM基盤）・建物など評価対象の登録の仕方、諸環境設定の方法をご説明します。

なお、管理者権限でログインすれば、ビジター・評価者権限でログインしたときのすべての機能を使用できますが、本マニュアルでは、管理者のみ実行できることを中心に、ご説明します。ビジター・評価者権限で実行できる機能については、評価マニュアルをご参照ください。

註：権限の種類

本システムの権限の種類は、以下の通りです。

ビジター : 本システムにログインして統計参照が出来る。

評価者 : 本システムにログインして、統計参照とともに、評価の入力ができる。

管理者 : 評価者権限に加えて、管理・環境設定が出来る

権限は、ログインパスワードにより、区別されます。

これらのパスワードも、管理者により設定・管理されます。

2. 団体の概念とセッションの概念

団体の概念

FM評価システムは、1システムで、複数の企業・団体のFM評価をサポートします。それぞれの団体は、多数の建物を管轄し、数年ごとに何回ものFM診断評価を行います。評価項目体系も、JFMES 11 に準拠しながらも、独自の評価項目を必要とするかもしれません。FM評価システムでは、一つの企業・団体の全FM評価を「団体」の概念でまとめ、団体ID・パスワードで区別します。

セッションの概念

FM評価システムは、企業・団体のFM評価を長期にわたってサポートします。FM評価は、一度行えば終わりではありません。2～3年ごとに、繰り返し行うことで、その間のFM施策の効果測定を行い、次の計画につなげます。FM評価システムでは、全建物に対するある時期の1回の評価をまとめたものを、セッションといいます。このようにセッション同士の間には、時間の経過がありますので、当然、新しい建物、追加したい評価項目など、評価環境の変化が起こります。FM評価システムでは、セッションごとに、評価項目体系・FM基盤（インフラ）・建物の登録、評価値などを、独立に維持しますので、こうした変化に対応できます。セッションの新設、セッション実施環境の設定には、管理者権限を使用します。

管理者権限による主要な設定項目は、以下の通りです。

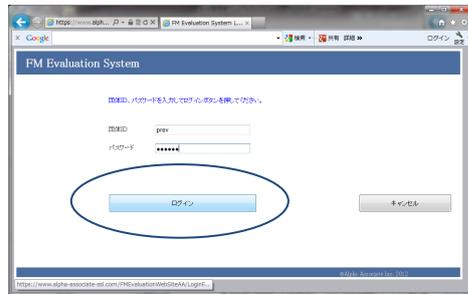
- a. セッションの新規作成・更新、複製。
- b. 団体定数・セッション定数の調整
- c. エリア（地域エリア）の登録・更新
- d. インフラ（FM基盤）の登録・更新
- e. 建物の登録・更新
- f. その他便利な機能の調整
- g. 評価項目体系の登録・更新
- h. 評価項目詳細説明PDFのアップロード

これらを、FM評価システムに、管理者パスワードを使用してログインすることにより、実行します。

本マニュアルでは、a.～f.の機能のご説明をいたします。g., h.の機能に関しては、管理者マニュアル 評価項目管理編 をご参照ください。

3. 管理パスワードによるログイン

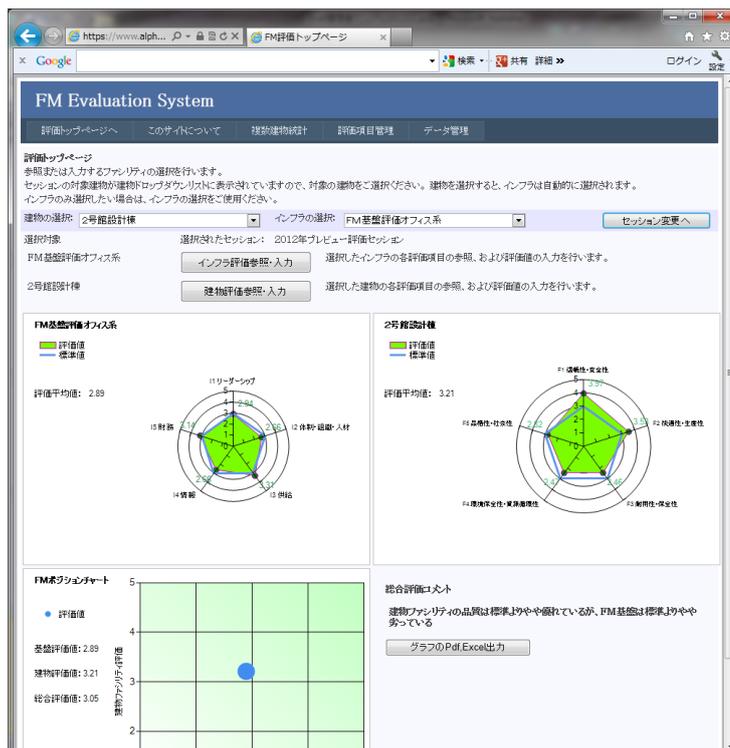
- ① 管理機能を使用するには、インターネットアクセス可能なPCで、ブラウザを起動し、FM評価システムのサイトにアクセスします。
- ② ログイン画面で、団体IDと、管理者のパスワードを入力し、ログインボタンを押します。



- ③ セッション選択ページが出ます。操作対象のセッションを選択します。新しいセッションを作成する場合も、既存のいずれかのセッションを選択してください。トップページへ移動します。



- ④ トップページが出ます。管理操作もこのページが起点になります。



4. セッションの登録・更新

セッションとは、ある時期に実施した一連の評価をまとめる概念です。セッションの登録は、セッションに管理用のナンバーと名前を付けるために行います。ある時期の調査の開始は、セッションの登録から始まります。また、過去に行った調査の参照も、そのセッションを指定することで行います。

ここでは、セッションの登録・更新の仕方をご説明します。

4. 1 セッションの登録・更新ページの表示

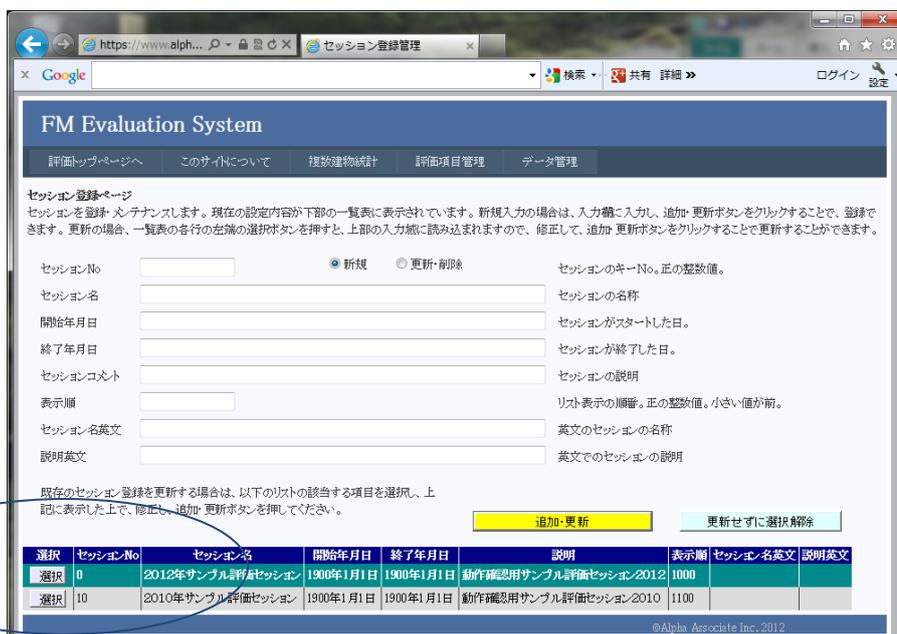
セッションの登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① 上部メニューのデータ管理をクリックし、セッション登録をクリックします。



- ② セッション登録ページが表示されます。

下部の一覧画面に現在登録されているセッションが表示されています。セッションNo=0は、システムに付属しているサンプルセッションです。(セッションNo 0~99は、サンプル用にキープされています。)



4. 2 セッションの新規登録

セッションの新規登録は、以下の手順で行います。

- ① セッションNo欄の右側にあるラジオボタンで、新規を選択します。
- ② 入力項目を入力します。（4. 5参照）
この時、下部のリストから、類似の内容のセッションを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、セッションNoを新しいものに変更し、修正するフィールドのみ修正入力することもできます。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
登録された内容は、下部のリストに表示されます。

セッション登録ページ

セッションを登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 20 新規 更新・削除

セッション名: 作成テストセッション

開始年月日: 2013/01/01

終了年月日: 2013/03/31

セッションコメント: 動作確認作成テスト用

表示順: 1200

セッション名英文:

説明英文:

セッションのキーNo。正の整数値。

セッションの名称

セッションがスタートした日。

セッションが終了した日。

セッションの説明

リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

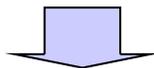
英文のセッションの名称

英文でのセッションの説明

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
<input type="checkbox"/>	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		

©Alpha Associate Inc. 2012



セッション登録ページ **データの追加 成功**

セッションを登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 新規 更新・削除

セッション名:

開始年月日:

終了年月日:

セッションコメント:

表示順:

セッション名英文:

説明英文:

セッションのキーNo。正の整数値。

セッションの名称

セッションがスタートした日。

セッションが終了した日。

セッションの説明

リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

英文のセッションの名称

英文でのセッションの説明

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
<input type="checkbox"/>	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		
<input type="checkbox"/>	20	作成テストセッション	2013年1月1日	2013年3月31日	動作確認作成テスト用	1200		

©Alpha Associate Inc. 2012

4. 3 セッションの更新

セッションの更新は、以下の手順で行います。

- ① セッションNo欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、更新対象のセッションを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

セッション登録ページ

セッションを登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄へ入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 20 新規 更新・削除

セッション名: 作成テストセッション

開始年月日: 2013/01/01

終了年月日: 2013/03/31

セッションコメント: 動作確認作成テスト用再修正

表示順: 1200

セッション名英文:

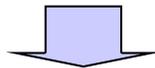
説明英文:

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

このデータの削除を可能とする。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
<input type="checkbox"/>	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		
<input checked="" type="checkbox"/>	20	作成テストセッション	2013年1月1日	2013年3月31日	動作確認作成テスト用	1200		

©Alpha Associate Inc. 2012



セッション登録ページ データの更新 成功

セッションを登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄へ入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 新規 更新・削除

セッション名:

開始年月日:

終了年月日:

セッションコメント:

表示順:

セッション名英文:

説明英文:

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
<input type="checkbox"/>	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		
<input checked="" type="checkbox"/>	20	作成テストセッション	2013年1月1日	2013年3月31日	動作確認作成テスト用再修正	1200		

©Alpha Associate Inc. 2012

4. 4 セッションの削除

セッションの削除は、以下の手順で行います。なお、セッションを削除すると、そのセッションの既存データにはアクセスできなくなります。削除に当たっては、十分な確認ののち実行してください。

- ① セッションNo欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、削除対象のセッションを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされます。同時に、「このデータの削除を可能とする」チェック欄が表示されます。「このデータの削除を可能とする」チェック欄をチェックします。
- ③ 項目の削除ボタンが表示されます。
- ④ 項目の削除ボタンをクリックして削除実行します。下部のリストから削除したレコードが消えます。

FM Evaluation System

セッション登録ページ

セッション登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 20 新規 更新・削除

セッション名: 作成テストセッション

開始年月日: 2013/01/01

終了年月日: 2013/03/31

セッションコメント: 動作確認作成テスト用再修正

表示順: 1200

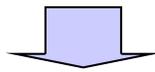
セッション名英文:

説明英文:

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

このデータの削除を可能とする。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
選択	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
選択	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		
選択	20	作成テストセッション	2013年1月1日	2013年3月31日	動作確認作成テスト用再修正	1200		



FM Evaluation System

セッション登録ページ

セッション登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo: 新規 更新・削除

セッション名:

開始年月日:

終了年月日:

セッションコメント:

表示順:

セッション名英文:

説明英文:

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

このデータの削除を可能とする。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
選択	0	2012年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2012	1000		
選択	10	2010年サンプル評価セッション	1900年1月1日	1900年1月1日	動作確認用サンプル評価セッション2010	1100		

4. 5 セッション入力項目の説明

セッション登録ページ

セッションを登録・メンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力域に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

セッションNo 新規 更新・削除 セッションのキーNo。正の整数値。

セッション名 セッションの名称

開始年月日 セッションがスタートした日。

終了年月日 セッションが終了した日。

セッションコメント セッションの説明

表示順 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

セッション名英文 英文のセッションの名称

説明英文 英文でのセッションの説明

既存のセッション登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	セッションNo	セッション名	開始年月日	終了年月日	説明	表示順	セッション名英文	説明英文
<input checked="" type="checkbox"/>	0	2012年プレビュー評価セッション	2012年11月5日	2012年12月31日	動作確認用プレビュー評価セッション2012	1000		

©Alpha Associate Inc. 2012

セッションNo

セッションのキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定します。

セッション名

セッション名は、表示に使用されます。関係者にわかりやすく、今回のセッションを明瞭に指し示す名前をつけてください。

例：〇〇株式会社FM評価2011年10月 など。

セッション開始日・終了日

実施期間が決まっている場合はその期間を、まだ未定であれば、およその期間を指定しておきます。後で、決定後、修正すれば、OKです。西暦YYYY/MM/DDの形式で、半角で入力します。

セッションコメント

セッションの補足説明です。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

5. セッションデータのコピー

新規セッションを登録した後、最初に行うのは、サンプルセッションまたは過去のセッションからのデータのコピーです。通常は、前回のセッションの評価項目体系・建物登録などを引き継ぎ、変更点を修正して新規評価セッションの環境をセットします。最初に評価を行うときは、システムに付属しているサンプルセッションをコピーして使用するのが一般的です。ここでは、サンプルセッションのコピーを例に、セッションデータのコピー方法をご説明します。

5. 1 データコピー実行ページの表示

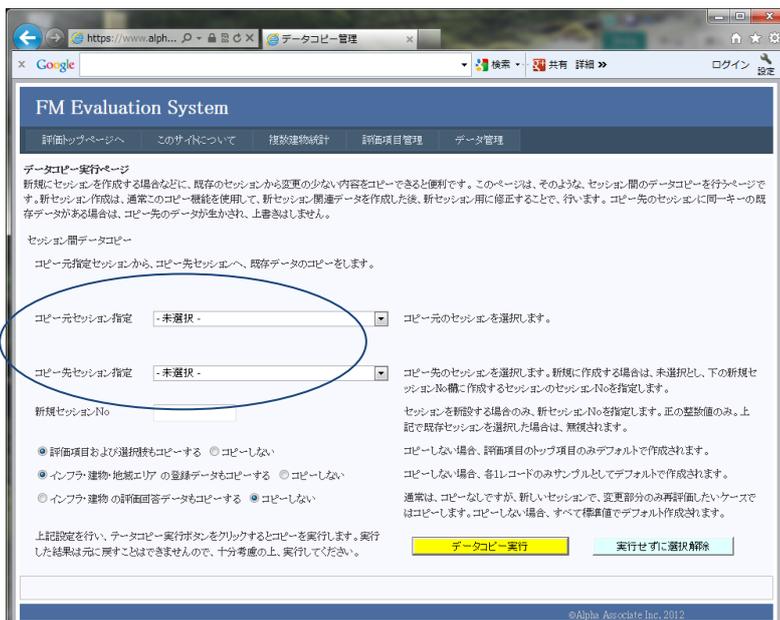
データコピー実行ページは、以下の手順で表示します。

- ① 上部メニューのデータ管理をクリックし、データコピー実行をクリックします。

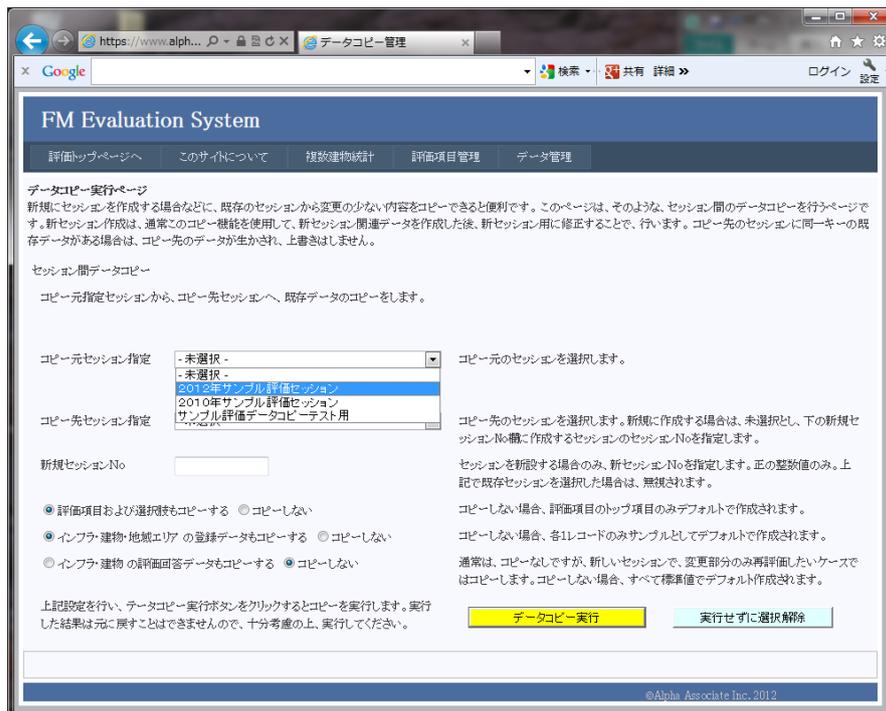


- ② データコピー実行ページが表示されます。

コピー元セッションと、コピー先セッションを指定し、コピー条件を指定してセッション間でデータをコピーすることができます。コピー先に同一キーのデータがあった場合、既存データが生かされ上書きは行われません。



5. 2 データコピー設定項目の説明



コピー元セッション指定

ドロップダウンリストに表示されているセッションの中から、コピー元となるセッションを選択します。

コピー先セッション指定

同様に、コピー先となるセッションを選択します。

新規セッションで、セッションが未登録の場合、ここでは未選択とし、次の新規セッションNo欄に新セッションNoを指定してセッション登録も同時に行うこともできますが、自動作成でもセッション名は変更する必要がありますので、先にセッションの登録を行っておいて、ここでコピー先として選択する方法をお勧めします。

新規セッションNo

コピー先セッションが未登録の場合、ここに新セッションNoを指定することにより、セッション登録を同時作成することができます。セッションNoは、100以上の正の整数です。前項でコピー先セッションを指定した場合は、この欄の値は無視されます。自動生成しない場合は、フランクとします。

評価項目および選択肢もコピーする ラジオボタン

通常はコピーします。評価項目をゼロから入力する場合のみ、コピーしないをチェックします。

インフラ・建物・地域エリアの登録データもコピーする ラジオボタン

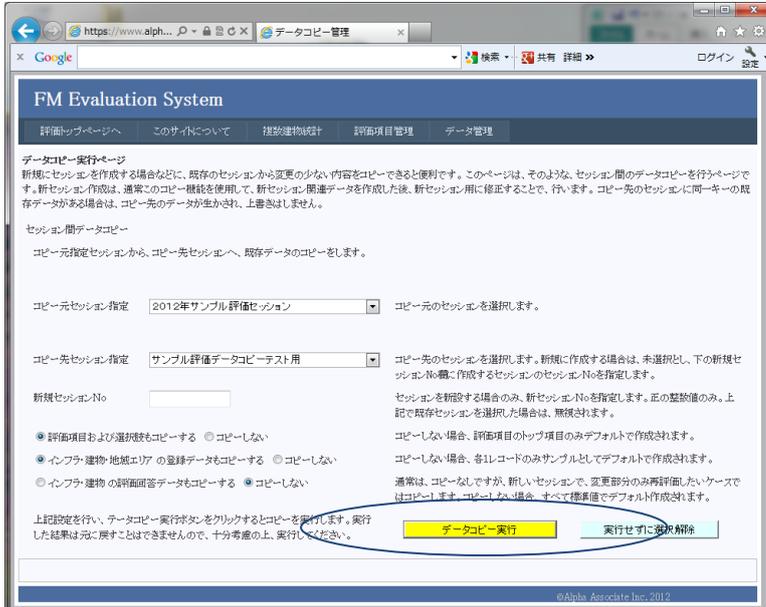
通常、前回のセッションからコピーする場合は、コピーするにチェックを入れます。サンプルセッションからコピーする場合は、コピーしないにチェックを入れます。

インフラ・建物の評価回答データもコピーする ラジオボタン

通常はコピーしないにチェックを入れます。前回の評価結果に対し、今回、ごく一部の項目のみ再評価する場合は、コピーするにチェックを入れます。

5. 3 データコピーの実行例

新規に作成したセッション サンプル評価データコピーテスト用 に 2012年サンプル評価セッション から、データをコピーした実例をお見せします。
 評価項目類、建物データ類は、コピーしますが、評価データはコピーしない設定で、データコピー実行ボタンを押します。



この処理は、時間がかかります。サンプル評価セッションの場合は、標準の評価項目体系で、27棟の建物を登録していますが、その評価データの全てを標準値で作成しますので、1~2分かかります。建物数が多ければ、数十分かかる場合もあります。
 コピー終了後、トップページのセッションの選択で、新セッションを選択し表示すると、新セッションのデータが標準値で作成されていることがわかります。



評価項目体系は元のセッションと同じ体系がコピーされ、インフラ登録・建物登録もそのままコピーされ、インフラ・建物ともに、評価値がオール3になっています。
 前回のセッションを基に新セッションを開始する場合は、このようにコピーしてから、建物の追加・変更などを行います。

6. エリアの登録・更新

エリアとは、建物群の在る地域を指します。管理上、地域的にまとめる概念です。エリアの登録は、地域エリアに管理用のナンバーと名前を付けるために行います。すべての建物はいずれかのエリアに属する必要があります。最低一つのエリアの登録が必要です。ここでは、エリアの登録・更新の仕方をご説明します。

6. 1 エリアの登録・更新ページの表示

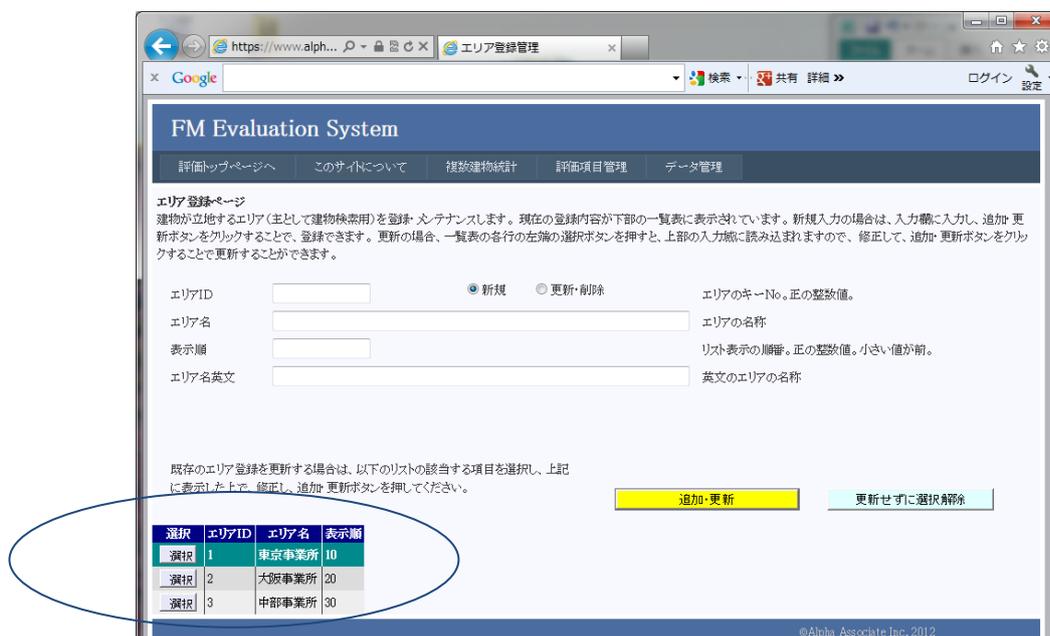
エリアの登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① 上部メニューのデータ管理をクリックし、エリア登録をクリックします。



- ② エリア登録ページが表示されます。

下部の一覧画面に現在登録されているエリアが表示されています。



6. 2 エリアの新規登録

エリアの新規登録は、以下の手順で行います。

- ① エリアID欄の右側にあるラジオボタンで、新規を選択します。
- ② 入力項目を入力します。（6. 5参照）
この時、下部のリストから、類似の内容のエリアを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、エリアIDを新しいものに変更し、修正するフィールドのみ修正入力することもできます。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
登録された内容は、下部のリストに表示されます。

FM Evaluation System

エリア登録ページ

建物が立地するエリア(主として建物検索用)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

エリアID: 4 新規 更新・削除 エリアのキーNo。正の整数値。

エリア名: 九州事業所 エリアの名称

表示順: 40 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

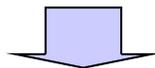
エリア名英文: 英文のエリアの名称

既存のエリア登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

追加・更新 **更新せずに選択解除**

選択	エリアID	エリア名	表示順
<input type="checkbox"/>	1	東京事業所	10
<input type="checkbox"/>	2	大阪事業所	20
<input type="checkbox"/>	3	中部事業所	30

©Alpha Associate Inc., 2012



FM Evaluation System

エリア登録ページ

建物が立地するエリア(主として建物検索用)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

エリアID: 新規 更新・削除 エリアのキーNo。正の整数値。

エリア名: エリアの名称

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

エリア名英文: 英文のエリアの名称

既存のエリア登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

追加・更新 **更新せずに選択解除**

選択	エリアID	エリア名	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	東京事業所	10
<input type="checkbox"/>	2	大阪事業所	20
<input type="checkbox"/>	3	中部事業所	30
<input type="checkbox"/>	4	九州事業所	40

©Alpha Associate Inc., 2012

6. 3 エリアの更新

エリアの更新は、以下の手順で行います。

- ① エリアID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、更新対象のエリアを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

FM Evaluation System

エリア登録ページ

建物が立地するエリア(主として建物検索用)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

エリアID: 4 新規 更新・削除 エリアのキーNo。正の整数値。

エリア名: 九州沖縄事業所 エリアの名称

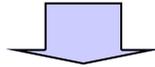
表示順: 40 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

エリア名英文: 英文のエリアの名称

既存のエリア登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。 このデータの削除を可能とする。

選択	エリアID	エリア名	表示順
<input type="checkbox"/>	1	東京事業所	10
<input type="checkbox"/>	2	大阪事業所	20
<input type="checkbox"/>	3	中部事業所	30
<input checked="" type="checkbox"/>	4	九州事業所	40

©Alpha Associate Inc. 2012



FM Evaluation System

エリア登録ページ データの更新 成功

建物が立地するエリア(主として建物検索用)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

エリアID: 新規 更新・削除 エリアのキーNo。正の整数値。

エリア名: エリアの名称

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

エリア名英文: 英文のエリアの名称

既存のエリア登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

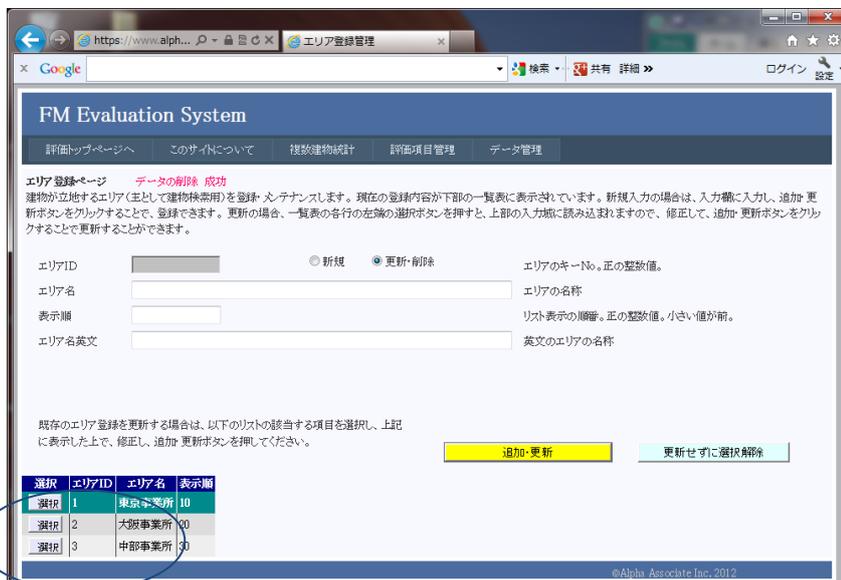
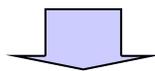
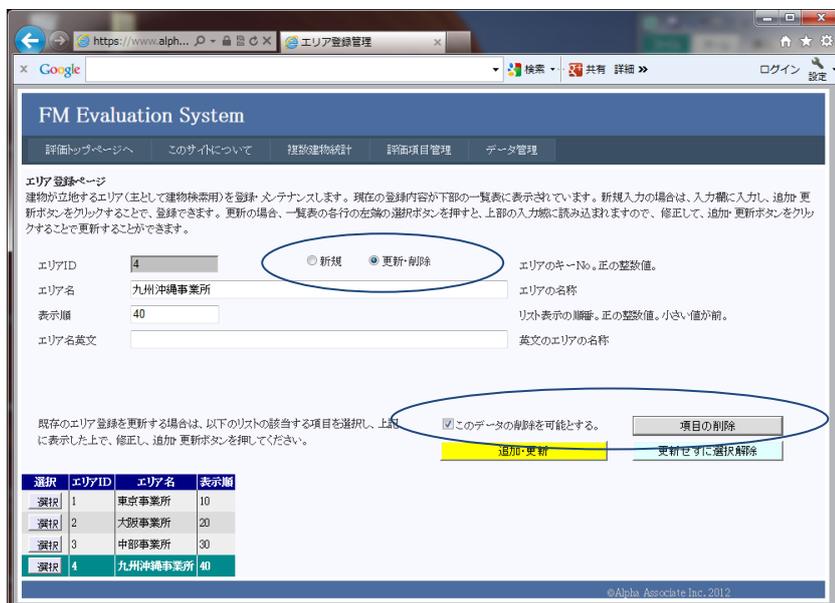
選択	エリアID	エリア名	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	東京事業所	10
<input type="checkbox"/>	2	大阪事業所	20
<input type="checkbox"/>	3	中部事業所	30
<input type="checkbox"/>	4	九州沖縄事業所	40

©Alpha Associate Inc. 2012

6. 4 エリアの削除

エリアの削除は、以下の手順で行います。なお、すでに建物が登録されているエリアは削除することはできません。削除に当たっては、十分な確認ののち実行してください。

- ① エリアID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。。
- ② 下部のリストから、削除対象のエリアを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされます。同時に、「このデータの削除を可能とする」チェック欄が表示されます。「このデータの削除を可能とする」チェック欄をチェックします。
- ③ 項目の削除ボタンが表示されます。
- ④ 項目の削除ボタンをクリックして削除実行します。
下部のリストから削除したレコードが消えます。



6. 5 エリア入力項目の説明

FM Evaluation System

評価トップページへ | このサイトについて | 複数建物統計 | 評価項目管理 | データ管理

エリア登録ページ
 建物が立地するエリア(主として建物検索用)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

エリアID 新規 更新・削除 エリアのキーNo。正の整数値。

エリア名 エリアの名称

表示順 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

エリア名英文 英文のエリアの名称

既存のエリア登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	エリアID	エリア名	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	東京事業所	10
<input type="checkbox"/>	2	大阪事業所	20
<input type="checkbox"/>	3	中部事業所	30

©Alpha Associate Inc. 2012

エリアID

エリアのキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定します。

エリア名

エリア名は、表示に使用されます。関係者にわかりやすく、地域を明瞭に指し示す名前をつけてください。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

7. インフラの登録・更新

インフラ（FM基盤）評価は、一つの団体について、通常は1つの評価となりますが、大きな団体では、意思決定機構の分離などの事情で、複数のインフラ評価が必要となる場合があります。そのような場合に備え、本システムでは、複数のインフラ評価を行えるよう、インフラにIDと名前を付けて登録する方式を採ります。すべての建物はいずれかのインフラに属する必要があります。最低一つのインフラの登録が必要です。ここでは、インフラの登録・更新の仕方をご説明します。

7. 1 インフラの登録・更新ページの表示

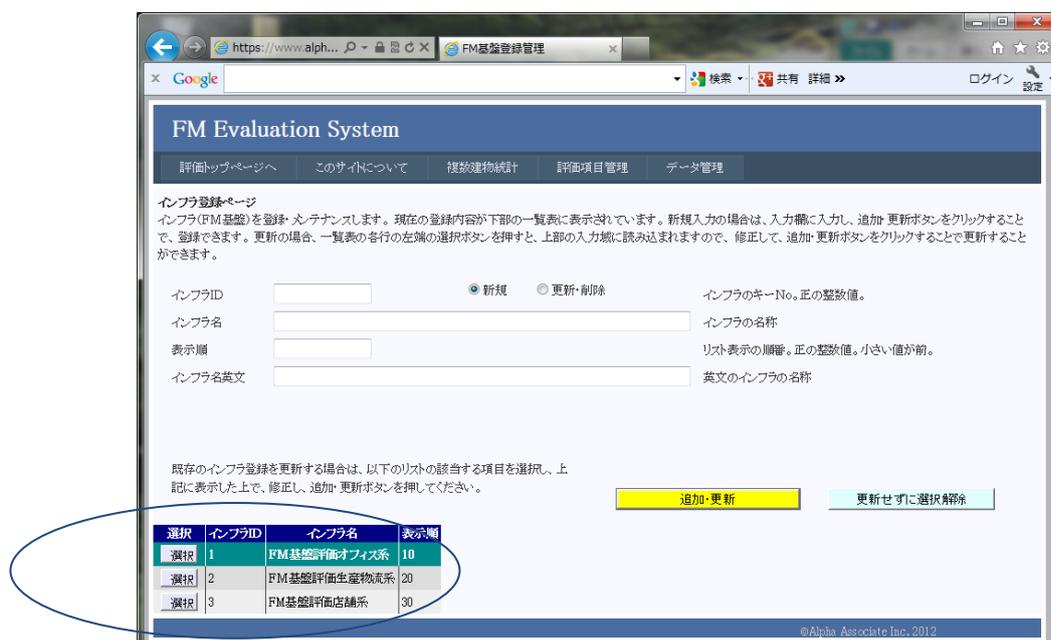
インフラの登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① 上部メニューのデータ管理をクリックし、インフラ登録をクリックします。



- ② インフラ登録ページが表示されます。

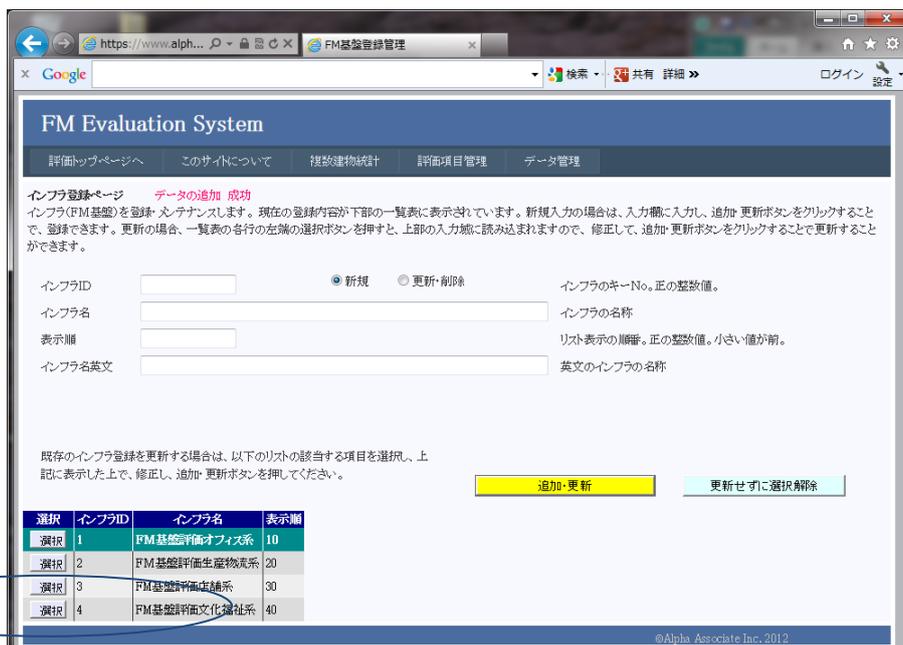
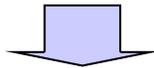
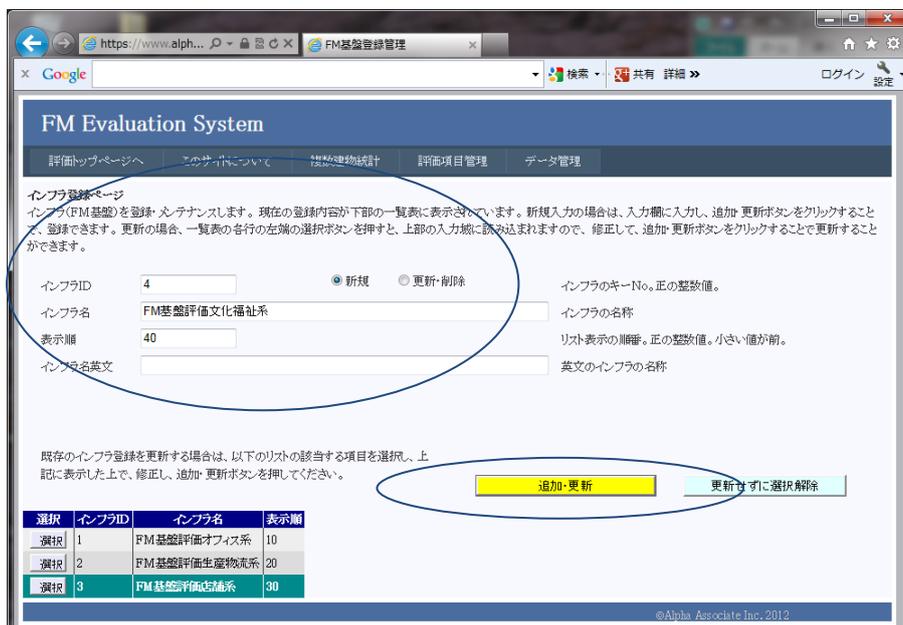
下部の一覧画面に現在登録されているインフラが表示されています。



7. 2 インフラの新規登録

インフラの新規登録は、以下の手順で行います。

- ① インフラID欄の右側にあるラジオボタンで、新規を選択します。
- ② 入力項目を入力します。(7. 5参照)
この時、下部のリストから、類似の内容のインフラを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、インフラIDを新しいものに変更し、修正するフィールドのみ修正入力することもできます。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
インフラの新規作成と同時に標準値による評価データが作成されますので、数秒かかります。
登録された内容は、下部のリストに表示されます。



7. 3 インフラの更新

インフラの更新は、以下の手順で行います。

- ① インフラID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、更新対象のインフラを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

FM Evaluation System

評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

インフラ登録ページ
インフラ(FM基盤)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

インフラID: 新規 更新・削除 インフラのキーNo。正の整数値。

インフラ名: インフラの名称

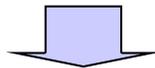
表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

インフラ名英文: 英文のインフラの名称

既存のインフラ登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。 *このデータの削除を可能とする。

選択	インフラID	インフラ名	表示順
<input type="checkbox"/>	1	FM 基盤評価オフィス系	10
<input type="checkbox"/>	2	FM 基盤評価生産物流系	20
<input type="checkbox"/>	3	FM 基盤評価店舗系	30
<input checked="" type="checkbox"/>	4	FM 基盤評価文化福祉住宅系	40

©Alpha Associate Inc. 2012



FM Evaluation System

評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

インフラ登録ページ **データの更新 成功**
インフラ(FM基盤)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

インフラID: 新規 更新・削除 インフラのキーNo。正の整数値。

インフラ名: インフラの名称

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

インフラ名英文: 英文のインフラの名称

既存のインフラ登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	インフラID	インフラ名	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	FM 基盤評価オフィス系	10
<input type="checkbox"/>	2	FM 基盤評価生産物流系	20
<input type="checkbox"/>	3	FM 基盤評価店舗系	30
<input checked="" type="checkbox"/>	4	FM 基盤評価文化福祉住宅系	40

©Alpha Associate Inc. 2012

7. 4 インフラの削除

インフラの削除は、以下の手順で行います。なお、すでに建物が登録されているインフラは削除することはできません。削除に当たっては、十分な確認ののち実行してください。

- ① インフラID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、削除対象のインフラを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされます。同時に、「このデータの削除を可能とする」チェック欄が表示されます。「このデータの削除を可能とする」チェック欄をチェックします。
- ③ 項目の削除ボタンが表示されます。
- ④ 項目の削除ボタンをクリックして削除実行します。下部のリストから削除したレコードが消えます。

FM Evaluation System

評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

インフラ登録メッセージ
インフラ(FM基盤)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

インフラID: 4 新規 更新・削除

インフラ名: FM基盤評価文化福祉住宅系

表示順: 40

インフラ名英文:

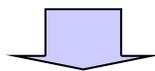
インフラのキーNo. 正の整数値。
インフラの名称
リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。
英文のインフラの名称

既存のインフラを更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

このデータの削除を可能とする。

選択	インフラID	インフラ名	表示順
<input type="checkbox"/>	1	FM基盤評価オフィス系	10
<input type="checkbox"/>	2	FM基盤評価生産物流系	20
<input type="checkbox"/>	3	FM基盤評価店舗系	30
<input checked="" type="checkbox"/>	4	FM基盤評価文化福祉住宅系	40

©Alpha Associate Inc. 2012



FM Evaluation System

評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

インフラ登録メッセージ **データの削除 成功**
インフラ(FM基盤)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

インフラID: 新規 更新・削除

インフラ名:

表示順:

インフラ名英文:

インフラのキーNo. 正の整数値。
インフラの名称
リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。
英文のインフラの名称

既存のインフラを更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	インフラID	インフラ名	表示順
<input type="checkbox"/>	1	FM基盤評価オフィス系	10
<input type="checkbox"/>	2	FM基盤評価生産物流系	20
<input type="checkbox"/>	3	FM基盤評価店舗系	30

©Alpha Associate Inc. 2012

7. 5 インフラ入力項目の説明

インフラ登録ページ
 インフラ(FM基盤)を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力域に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

インフラID 新規 更新・削除 インフラのキーNo。正の整数値。

インフラ名 インフラの名称

表示順 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

インフラ名英文 英文のインフラの名称

既存のインフラ登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	インフラID	インフラ名	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	FM基盤評価オフィス系	10
<input type="checkbox"/>	2	FM基盤評価生産物流系	20
<input type="checkbox"/>	3	FM基盤評価面店舗系	30

©Alpha Associate Inc. 2012

インフラID

インフラのキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定します。

インフラ名

インフラ名は、表示に使用されます。関係者にわかりやすく、そのインフラ評価が対象とする建物の範囲を示唆する名前をつけてください。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

8. 建物の登録・更新

ファシリティ評価の対象となる建物を、その属性とともに登録します。建物属性は、延床面積や竣工時期などの標準的なものから、団体特有の項目まで、多数あります。また、すべての建物はいずれかのインフラ・いずれかのエリアに属する必要があります。これらの建物属性項目は、統計での検索条件として活用することができます。ここでは、建物の登録・更新の仕方をご説明します。

8. 1 建物の登録・更新ページの表示

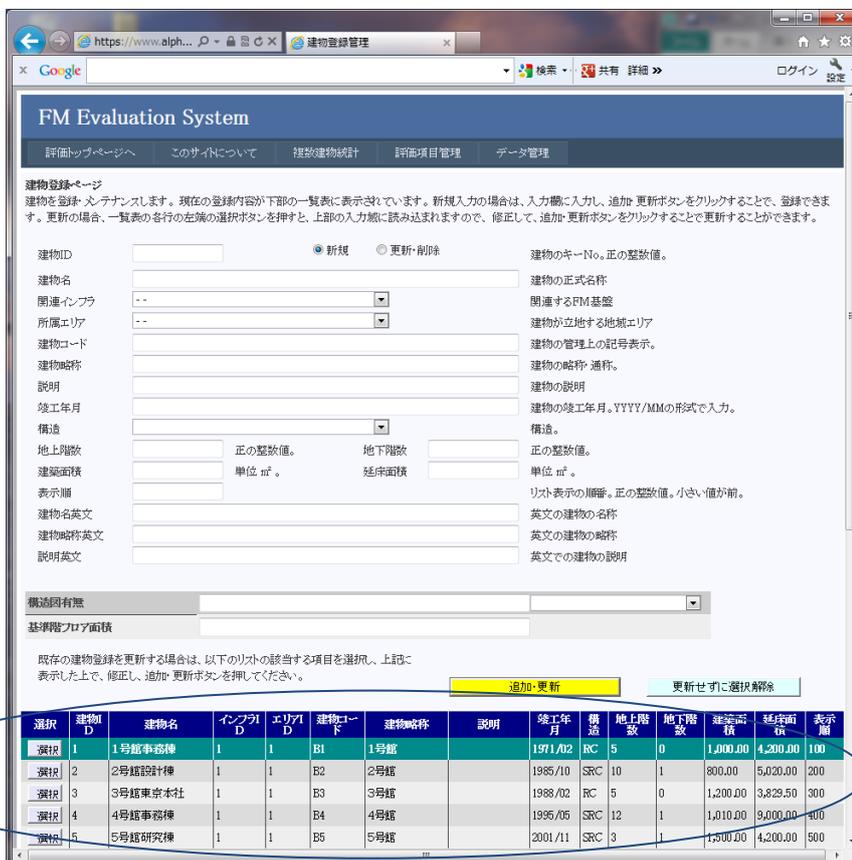
建物の登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① 上部メニューのデータ管理をクリックし、建物登録をクリックします。



- ② 建物登録ページが表示されます。

下部の一覧画面に現在登録されている建物が表示されています。



8. 2 建物の新規登録

建物の新規登録は、以下の手順で行います。

- ① 建物ID欄の右側にあるラジオボタンで、新規を選択します。
- ② 入力項目を入力します。（8. 5 参照）
この時、下部のリストから、類似の内容の建物を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、建物IDを新しいものに変更し、修正するフィールドのみ修正入力することもできます。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
建物の新規作成と同時に標準値による評価データが作成され、数秒かかります。
登録された内容は、下部のリストに表示されます。

建物登録メッセージ
建物を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

建物ID: 28 新規 更新・削除

建物名: 技術研究センター

関連インフラ: FM基礎評価オフィス系

所属エリア: 東京事業所

建物コード: B12

建物略称: 技研

説明:

竣工年月: 2010/11

構造: 鉄骨鉄筋コンクリート

地上階数: 5 正の整数値。 地下階数: 1 正の整数値。

建築面積: 1000 単位 m²。 延床面積: 5000.00 単位 m²。

表示階: 250 リスト表示の階層。正の整数値。小さい値が前。

建物名英文:

建物略称英文:

説明英文:

構造種別有無: 有

基準階プログラム面積: 900

既存の建物登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示階
<input type="checkbox"/>	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200
<input type="checkbox"/>	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号館事務棟	1	1	B4	4号館		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400
<input type="checkbox"/>	5	5号館研究棟	1	1	B5	5号館		2001/11	SRC	3	1	1,500.00	4,200.00	500

データ追加成功

建物を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

建物ID:

建物名:

関連インフラ:

所属エリア:

建物コード:

建物略称:

説明:

竣工年月:

構造:

地上階数: 正の整数値。 地下階数: 正の整数値。

建築面積: 単位 m²。 延床面積: 単位 m²。

表示階: リスト表示の階層。正の整数値。小さい値が前。

建物名英文:

建物略称英文:

説明英文:

構造種別有無:

基準階プログラム面積:

既存の建物登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示階
<input type="checkbox"/>	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200
<input type="checkbox"/>	28	技術研究センター	1	1	B12	技研		2010/11	SRC	5	1	1,000.00	5,000.00	250
<input type="checkbox"/>	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号館事務棟	1	1	B4	4号館		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400

8. 3 建物の更新

建物の更新は、以下の手順で行います。

- ① 建物ID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、更新対象の建物を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

The screenshot shows the 'Building Registration Page' in the FM Evaluation System. The 'Update/Delete' radio button is selected. The 'Add/Update' button is highlighted in yellow. The table below shows the current state of the building list.

選択	建物ID	建物名	インフラD	エリアD	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
<input type="checkbox"/>	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,030.00	200
<input checked="" type="checkbox"/>	28	技術研究センター	1	1	B12	技研		2010/11	SRC	5	1	1,000.00	5,000.00	250
<input type="checkbox"/>	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号館事務棟	1	1	B4	4号館		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400

The screenshot shows the 'Building Registration Page' after a building has been selected. The 'Update/Delete' radio button is selected. The 'Add/Update' button is highlighted in yellow. A blue arrow points to the 'Update/Delete' radio button. The table below shows the current state of the building list.

選択	建物ID	建物名	インフラD	エリアD	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
<input type="checkbox"/>	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,030.00	200
<input checked="" type="checkbox"/>	28	技術研究センター	1	1	B12	技研センター		2010/11	SRC	5	1	1,000.00	5,000.00	250
<input type="checkbox"/>	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号館事務棟	1	1	B4	4号館		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400

8. 4 建物の削除

建物の削除は、以下の手順で行います。なお、削除した建物を復活することはできません。削除に当たっては、十分な確認ののち実行してください。

- ① 建物ID欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ② 下部のリストから、削除対象の建物を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされます。同時に、「このデータの削除を可能とする」チェック欄が表示されます。「このデータの削除を可能とする」チェック欄をチェックします。
- ③ 項目の削除ボタンが表示されます。
- ④ 項目の削除ボタンをクリックして削除実行します。下部のリストから削除したレコードが消えます。

FM Evaluation System

建物登録ページ

建物登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

建物ID: 28 新規 更新・削除

建物名: 技術研究センター

関連インフラ: FM 基盤評価オフィス系

所属エリア: 東京事業所

建物コード: B12

建物略称: 技研センター

説明: 技研センター

竣工年月: 2010/11

構造: 鉄骨鉄筋コンクリート

地上階数: 5 正の階数値。 地下階数: 1 正の階数値。

建築面積: 1000.00 単位 m²。 延床面積: 5000.00 単位 m²。

表示順: 250

建物名英文:

建物略称英文:

説明英文:

構造種別有無: 有

基準階フロア面積: 900

現在の建物登録を更新する場合は、以下の以外の該当する項目を選択し、上記に このデータの削除を可能とする。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
<input type="checkbox"/>	1	1号棟事務棟	1	1	E1	1号棟		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号棟設計棟	1	1	E2	2号棟		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200
<input checked="" type="checkbox"/>	28	技術研究センター	1	1	B12	技研センター		2010/11	SRC	5	1	1,000.00	5,000.00	250
<input type="checkbox"/>	3	3号棟東京本社	1	1	E3	3号棟		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,825.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号棟事務棟	1	1	E4	4号棟		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400

データの削除 成功

建物登録ページ

建物登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

建物ID:

建物名:

関連インフラ:

所属エリア:

建物コード:

建物略称:

説明:

竣工年月:

構造:

地上階数: 正の階数値。 地下階数: 正の階数値。

建築面積: 単位 m²。 延床面積: 単位 m²。

表示順:

建物名英文:

建物略称英文:

説明英文:

構造種別有無:

基準階フロア面積:

現在の建物登録を更新する場合は、以下の以外の該当する項目を選択し、上記に このデータの削除を可能とする。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
<input type="checkbox"/>	1	1号棟事務棟	1	1	E1	1号棟		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
<input type="checkbox"/>	2	2号棟設計棟	1	1	E2	2号棟		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200
<input checked="" type="checkbox"/>	3	3号棟東京本社	1	1	E3	3号棟		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,825.50	300
<input type="checkbox"/>	4	4号棟事務棟	1	1	E4	4号棟		1995/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400
<input type="checkbox"/>	5	5号棟研究棟	1	1	E5	5号棟		2001/11	SRC	3	1	1,500.00	4,200.00	500

8. 5 建物入力項目の説明

建物登録ページ
 建物を登録・メンテナンスします。現在の登録内容が下部の一覧表に表示されています。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力域に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

建物ID 新規 更新・削除 建物のキーNo。正の整数値。
 建物名 建物の正式名称
 関連インフラ 関連するFM基盤
 所属エリア 建物が立地する地域エリア
 建物コード 建物の管理上の記号表示。
 建物略称 建物の略称・通称。
 説明 建物の説明
 竣工年月 建物の竣工年月。YYYY/MMの形式で入力。
 構造 構造。
 地上階数 正の整数値。 地下階数 正の整数値。
 建築面積 単位 m²。 延床面積 単位 m²。
 表示順 リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。
 建物名英文 英文の建物の名称
 建物略称英文 英文の建物の略称
 説明英文 英文での建物の説明

構造図有無

基準階フロア面積

既存の建物登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
<input checked="" type="checkbox"/>	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100

建物ID

建物のキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定します。

建物名

建物名は、正式表示に使用されます。その建物の正式名称をご入力ください。

関連インフラ

その建物に関連するインフラ評価を選択します。

所属エリア

その建物が所属する地域エリアを選択します。

建物コード

その建物の管理上の記号表示。実際に使用しているもの。

建物略称

その建物の略称。グラフ類にはこちらが使用されます。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。



説明

建物の説明。

竣工年月

建物の竣工年月。西暦で、かつ、半角で YYYY/MM の形式で入力してください。

構造

建物の構造を選択してください。

地上階数、地下階数

0または正の整数値です。それぞれ、半角数字で入力してください。

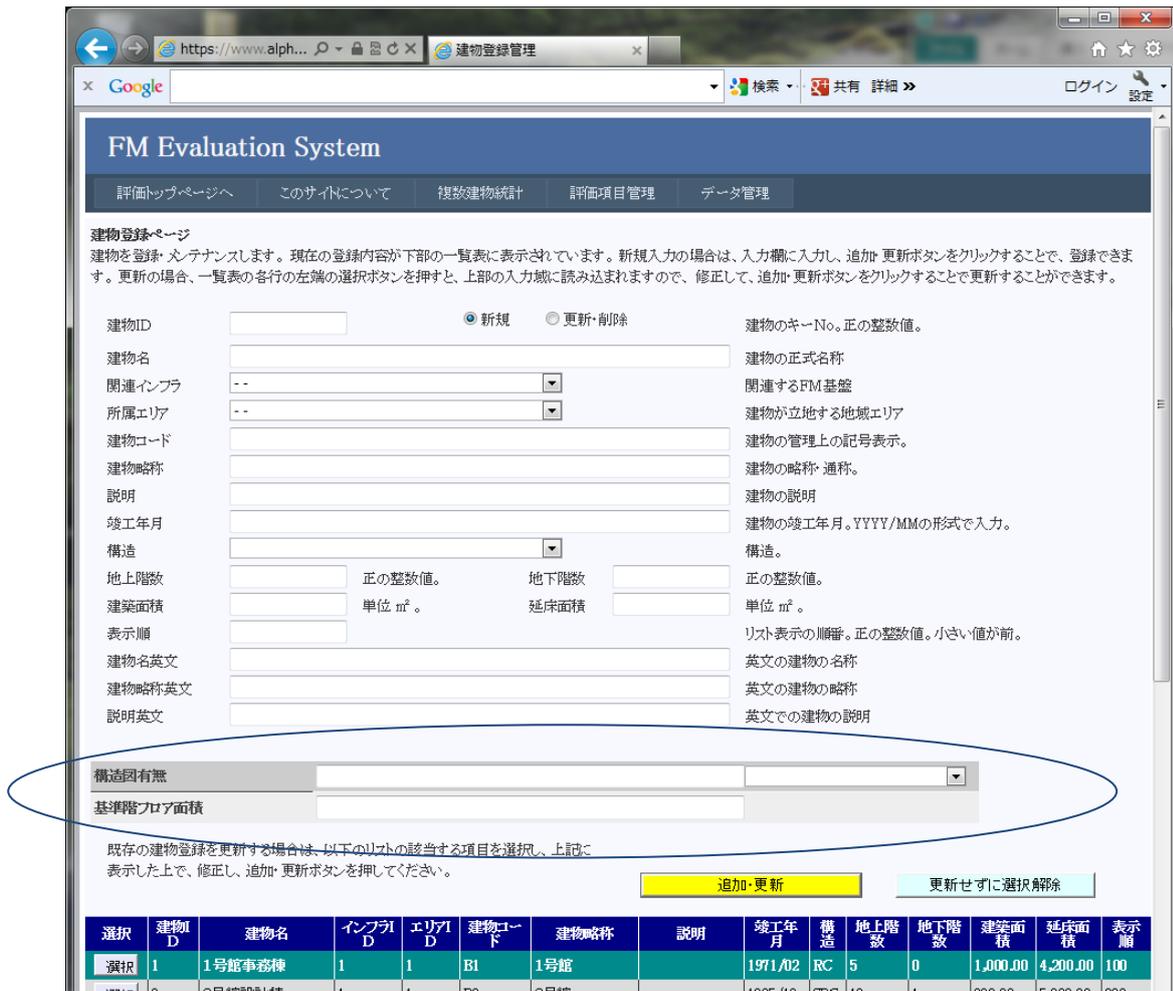
建築面積、延床面積

m²単位・小数点以下2桁まで、で入力してください。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておくと、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。



ユーザー追加属性フィールド

上記画面の 構造図有無・基準階フロア面積 は、ユーザー追加属性フィールドです。本システムでは、建物登録データの属性項目として、最大70の項目をユーザー自身で追加できます。追加されたユーザー追加属性項目は、このように、入力欄の下部に自動的に表示されます。必要であれば、入力補助のためのドロップダウンリストを付属させることもできます。ユーザー追加属性項目の定義の仕方については、XX. リザーブカラム使用登録 をご参照ください。ユーザー追加属性項目の入力内容もユーザー自身が決めます。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

9. リザーブカラム使用登録・更新

リザーブカラムとは、ユーザーが独自の管理をするために必要に応じて使用できるユーザー追加可能なデータベース上のフィールドです。現在この機能は、建物データでのみ利用できます。建物データの標準属性カラム以外に属性項目が必要な場合、ご使用ください。最大で、70項目まで使用できます。

ここでは、リザーブカラムの使用登録・更新の仕方をご説明します。

9. 1 リザーブカラム使用登録・更新ページの表示

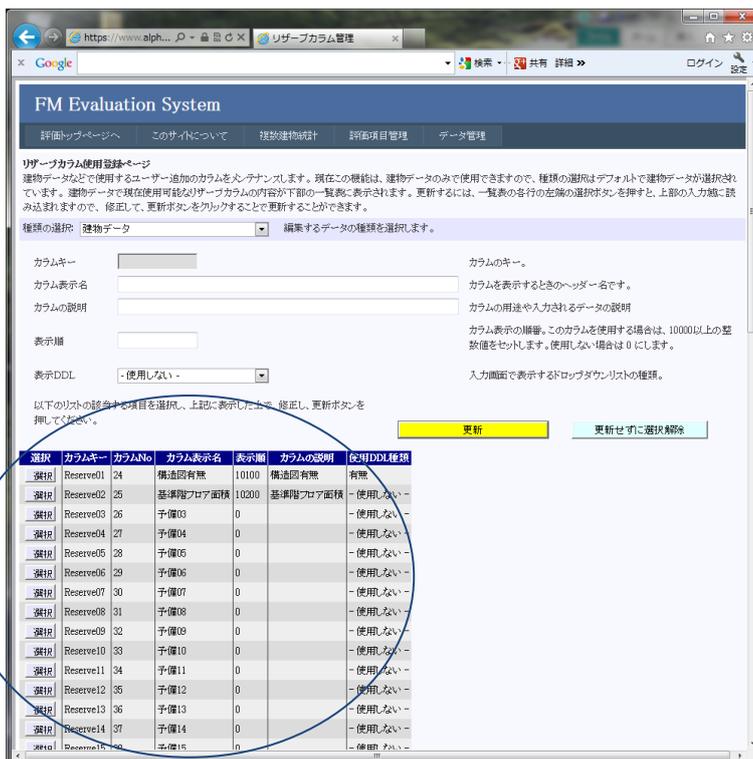
リザーブカラム使用登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① メニューのデータ管理をクリックし、リザーブカラム使用登録をクリックします。



- ② リザーブカラム使用登録ページが表示されます。

下部の一覧画面に登録されているリザーブカラムのリストが表示され、使用状況が表示されています。表示順No = 0 のカラムは不使用、表示順No が10000以上のカラムは現在使用されています。



サンプルデータでは、カラムキーの

Reserve01 が、構造図の有無、

Reserve02 が基準階フロア面積

という項目として使用されています。

カラム表示名が入力画面・出力画面でのタイトル表示に使用される名称です。

9. 2 リザーブカラムを使用した時の機能

建物のリザーブカラムを使用すると以下のようなことができます。

- ① 建物の登録・更新画面に入力フィールドとして表示され、入力データを建物登録に保存することができます。

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順
選択	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100
選択	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200
選択	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300

構造図の有無、

基準階フロア面積

という2つの項目が、入力できるよう、表示されています。

構造図の有無には、右側に、入力補助用のドロップダウンリストも表示されています。

- ② 複数建物統計で建物の一覧リストが表示されるとき、リスト上に、入力した値が表示されます。
この時表示される順番は、リザーブカラム登録の表示順の昇順になります。

建物名	建物評価値	建物評価ゲージ	延床面積	インフラ名	インフラ評価値
1号館	1.89		4,200.00	FM基準評価オフィス系	2.90
2号館	3.22		5,020.00	FM基準評価オフィス系	2.90
3号館	2.82		3,829.50	FM基準評価オフィス系	2.90

選択	建物ID	建物名	インフラID	エリアID	建物コード	建物略称	説明	竣工年月	構造	地上階数	地下階数	建築面積	延床面積	表示順	構造図有無	基準階フロア面積
選択	1	1号館事務棟	1	1	B1	1号館		1971/02	RC	5	0	1,000.00	4,200.00	100	無	900
選択	2	2号館設計棟	1	1	B2	2号館		1985/10	SRC	10	1	800.00	5,020.00	200	有	700
選択	3	3号館東京本社	1	1	B3	3号館		1988/02	RC	5	0	1,200.00	3,829.50	300	有	1100
選択	4	4号館事務棟	1	1	B4	4号館		1985/05	SRC	12	1	1,010.00	9,000.00	400	有	900

- ③ 建物詳細検索の検索条件として、使用しているリザーブカラムの値を使用することができます。
建物群を検索する際の検索キーとして独自の項目を設定したい場合に便利です。

9. 3 リザーブカラム使用の更新

リザーブカラム使用の更新は、以下の手順で行います。

- ① 種類の選択で、建物データが選択されていることを確認します。
- ② 下部のリストから、更新対象のリザーブカラムを選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。カラムを不使用にする場合は、表示順を 0 にします。入力補助用 DDL を使用する場合は、ドロップダウンリストから選択します。（DDL 登録参照）
- ③ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

リザーブカラム使用登録ページ
 建物データなどで使用するユーザー追加のカラムをメンテナンスします。現在この機能は、建物データのみで使用できますので、種類の選択はデフォルトで建物データが選択されています。建物データで現在使用可能なリザーブカラムの内容が下部の一覧表に表示されます。更新するには、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **建物データ** 編集するデータの種類を選択します。

カラムキー: **Reserve01** カラムのキー。
 カラム表示名: **構造図有無** カラムを表示するときのヘッダー名です。
 カラムの説明: **構造図有無** カラムの用途や入力されるデータの説明
 表示順: **10300** カラム表示の順番。このカラムを使用する場合は、10000以上の整数値をセットします。使用しない場合は 0 にします。
 表示DDL: **有無** 入力画面で表示するドロップダウンリストの種類。
 以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新 **更新せずに選択解除**

選択	カラムキー	カラムNo	カラム表示名	表示順	カラムの説明	使用DDL種類
<input checked="" type="checkbox"/>	Reserve01	24	構造図有無	10100	構造図有無	有無
<input type="checkbox"/>	Reserve02	25	基準階フロア面積	10200	基準階フロア面積	- 使用しない -
<input type="checkbox"/>	Reserve03	26	予備03	0		- 使用しない -
<input type="checkbox"/>	Reserve04	27	予備04	0		- 使用しない -
<input type="checkbox"/>	Reserve05	28	予備05	0		- 使用しない -



リザーブカラム使用登録ページ データの更新 成功
 建物データなどで使用するユーザー追加のカラムをメンテナンスします。現在この機能は、建物データのみで使用できますので、種類の選択はデフォルトで建物データが選択されています。建物データで現在使用可能なリザーブカラムの内容が下部の一覧表に表示されます。更新するには、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **建物データ** 編集するデータの種類を選択します。

カラムキー: カラムのキー。
 カラム表示名: カラムを表示するときのヘッダー名です。
 カラムの説明: カラムの用途や入力されるデータの説明
 表示順: カラム表示の順番。このカラムを使用する場合は、10000以上の整数値をセットします。使用しない場合は 0 にします。
 表示DDL: **- 使用しない -** 入力画面で表示するドロップダウンリストの種類。
 以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新 **更新せずに選択解除**

選択	カラムキー	カラムNo	カラム表示名	表示順	カラムの説明	使用DDL種類
<input checked="" type="checkbox"/>	Reserve02	25	基準階フロア面積	10200	基準階フロア面積	- 使用しない -
<input checked="" type="checkbox"/>	Reserve01	24	構造図有無	10300	構造図有無	有無
<input type="checkbox"/>	Reserve03	26	予備03	0		- 使用しない -
<input type="checkbox"/>	Reserve04	27	予備04	0		- 使用しない -
<input type="checkbox"/>	Reserve05	28	予備05	0		- 使用しない -

9. 4 リザーブカラム使用登録 入力項目の説明

FM Evaluation System

評価トップページへ | このサイトについて | 複数建物統計 | 評価項目管理 | データ管理

リザーブカラム使用登録ページ
 建物データなどで使用するユーザー追加のカラムをメンテナンスします。現在の機能は、建物データのみで使用できますので、種類の選択はデフォルトで建物データが選択されています。建物データで現在使用可能なリザーブカラムの内容が下部の一覧表に表示されます。更新するには、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力域に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: 編集するデータの種類を選択します。

カラムキー カラムのキー。
 カラム表示名 カラムを表示するときのヘッダー名です。
 カラムの説明 カラムの用途や入力されるデータの説明
 表示順 カラム表示の順番。このカラムを使用する場合は、10000以上の整数値をセットします。使用しない場合は0にします。
 表示DDL 入力画面で表示するドロップダウンリストの種類。

以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

選択	カラムキー	カラムNo	カラム表示名	表示順	カラムの説明	使用DDL種類
<input type="checkbox"/>	Reserve02	25	基準階フロア面積	10200	基準階フロア面積	-使用しない-
<input type="checkbox"/>	Reserve01	24	構造図有無	10300	構造図有無	有無
<input type="checkbox"/>	Reserve03	26	予備03	0		-使用しない-
<input type="checkbox"/>	Reserve04	27	予備04	0		-使用しない-
<input type="checkbox"/>	Reserve05	28	予備05	0		-使用しない-

カラムキー、カラムNo

リザーブカラムのキー類です。システムによって設定されています。変更できません。

カラム表示名

カラム表示名は、カラムのタイトル表示に使用されます。入力するデータの意味を明瞭に指し示す簡潔な名前をつけてください。

カラムの説明

カラムの説明です。簡潔な表示名では不足するカラム内容の説明を入力します。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。このカラムを使用しない場合は、0を入れます。

使用する場合は、10000以上の整数値を入れます。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

表示DDL

入力する人の便宜のため、および、入力値を制限したいため、などの理由で、入力時、ドロップダウンリストにより入力値を選択するようにしたい場合があります。そのような時、使用します。ここでは、表示するドロップダウンリストの種類を選択します。ドロップダウンリスト自体の登録は、DDL登録で、あらかじめ登録しておきます。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

11.1. DDLデータ登録・更新

DDLは、ドロップダウンリストの略です。本システムの建物等の入力画面で使用する入力補助のためのドロップダウンリストを指します。特に、ユーザー追加カラムを使用する時、入力値をDDL選択方式にしたい場合に、利用します。新しいDDLの定義もできます。

ここでは、DDLデータの登録・更新の仕方をご説明します。

11.1.1 DDLデータ登録・更新ページの表示

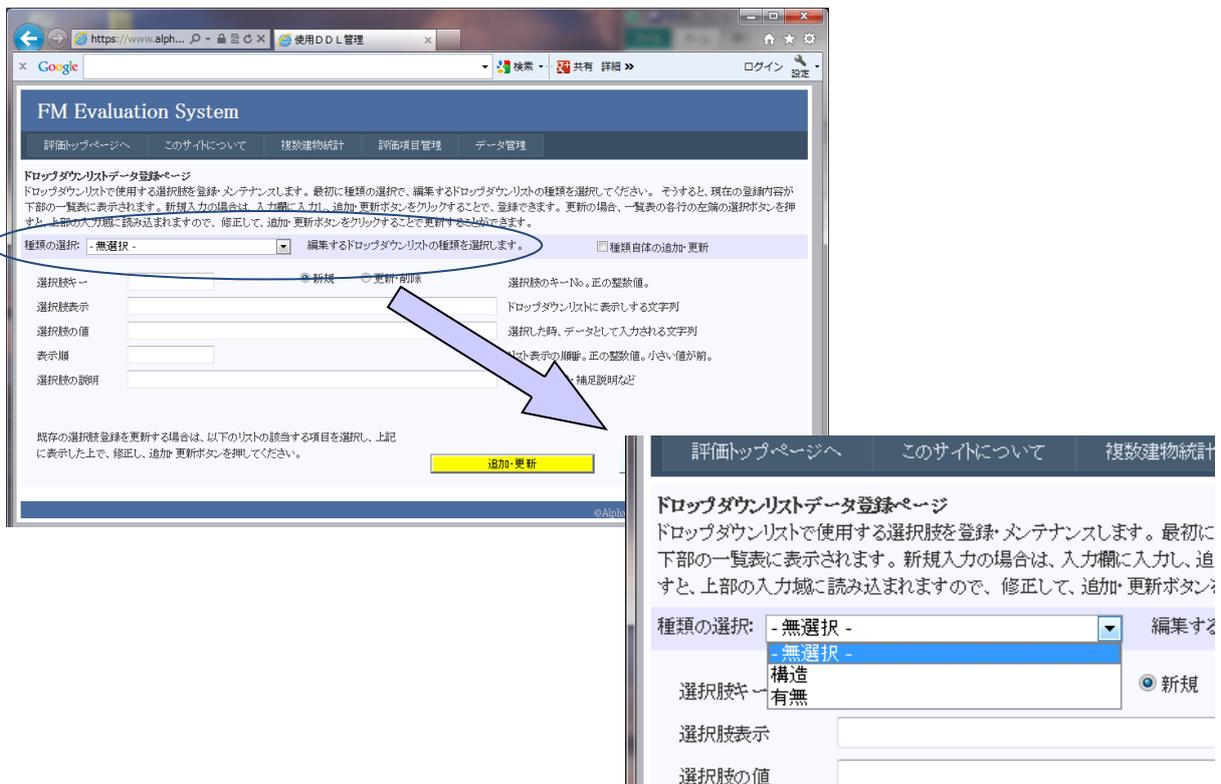
DDLデータ登録・更新ページは、以下の手順で表示します。

- ① メニューのデータ管理をクリックし、DDLデータ登録をクリックします。



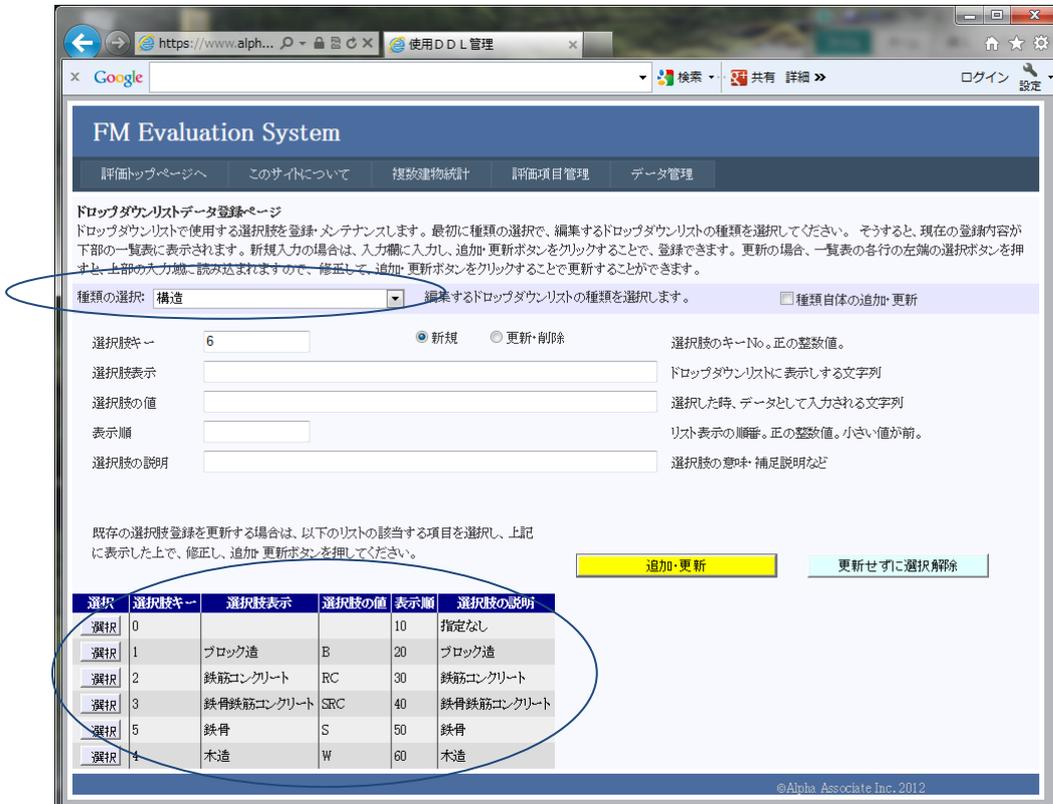
- ② DDLデータ登録ページが表示されます。

この段階では、下部に一覧リストは表示されません。種類の選択ドロップダウンリストを開くと、既存のDDLの種類を参照できます。

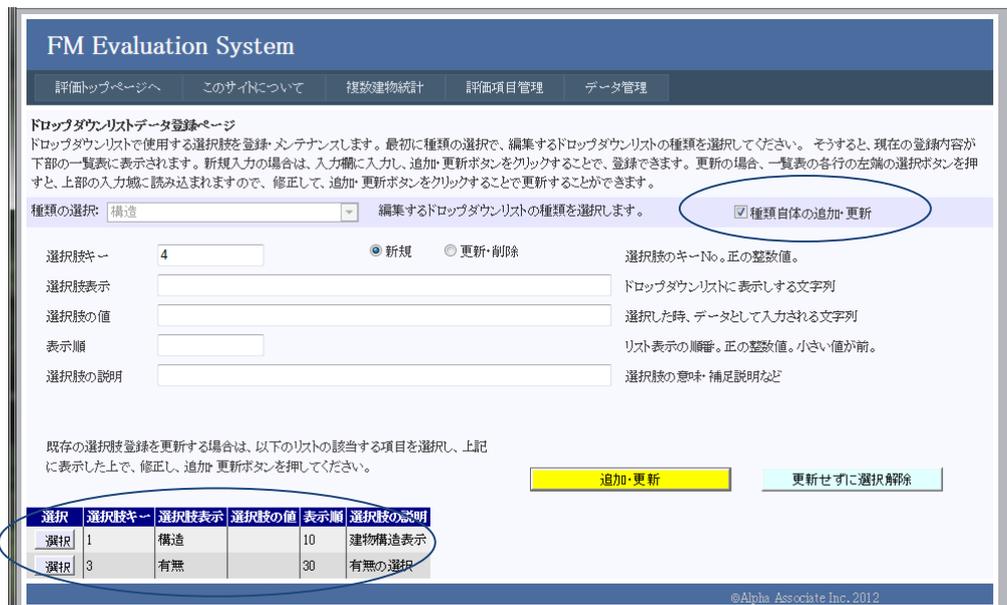


③ 種類の選択で、DDLの種類を選択します。

種類「構造」を選択すると、下部の一覧画面に登録されている「構造」DDLの選択肢のリストが表示されます。“選択肢表示”がドロップダウンリストに表示される値で、“選択肢の値”が、その選択肢を選択した時、データに入力される値です。また、ドロップダウンリストの選択肢の表示順は、“表示順”欄の値の昇順になります。この画面で選択肢の追加・更新ができます。



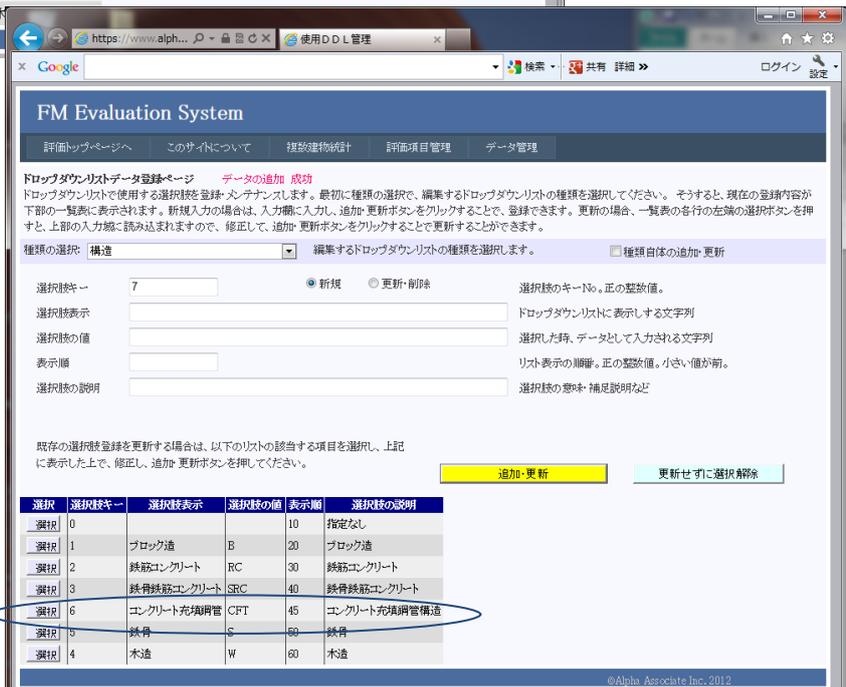
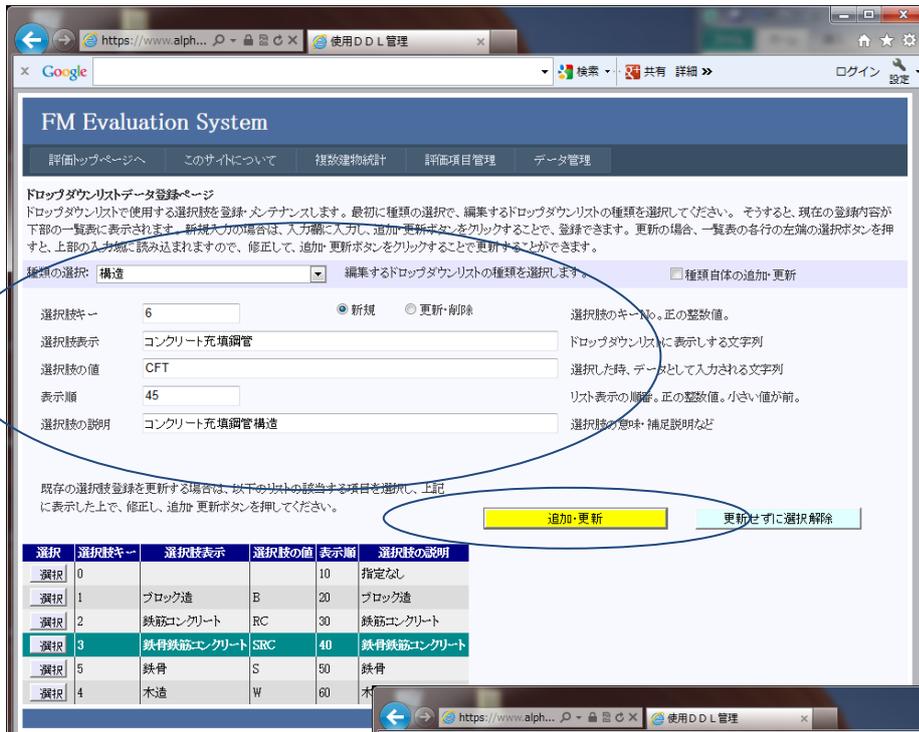
④ 種類自体の追加更新にチェックマークをつけると、ドロップダウンリストの種類を追加することができます。以下のように、減債登録されているドロップダウンリストの種類が下部にリスト表示され、選択できるようになります。



1 1 . 2 DDL選択肢の新規登録

DDL選択肢の新規登録は、以下の手順で行います。

- ① 種類の選択で対象のDDL種類を選択します。
- ② 選択肢キー欄の右側にあるラジオボタンで、新規を選択します。
- ③ 入力項目を入力します。（1 1 . 5 参照）
この時、下部のリストから、類似の内容の選択肢を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、選択肢キーを新しいものに変更し、修正するフィールドのみ修正入力することもできます。
- ④ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
登録された内容は、下部のリストに表示されます。



11.3 DDL選択肢の更新

DDL選択肢の更新は、以下の手順で行います。

- ① 種類の選択で、対象のDDL種類を選択します。
- ② 選択肢キー欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ③ 下部のリストから、更新対象の選択肢を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。
- ④ 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

FM Evaluation System

詳細トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

ドロップダウンリストデータ登録ページ
ドロップダウンリストで使用する選択肢を登録・メンテナンスします。最初に種類の選択で、編集するドロップダウンリストの種類を選択してください。そうすると、現在の登録内容が下部の一覧表に表示されます。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **構造** 編集するドロップダウンリストの種類を選択します。 種類自体の追加・更新

選択肢キー: 新規 更新・削除 選択肢のキーNo. 正の整数値。

選択肢表示: ドロップダウンリストに表示する文字列

選択肢の値: 選択した時、データとして入力される文字列

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

選択肢の説明: 選択肢の意味・補足説明など

既存の選択肢登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記 このデータの削除を可能とする。
に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
選択	0			10	指定なし
選択	1	ブロック造	B	20	ブロック造
選択	2	鉄筋コンクリート	RC	30	鉄筋コンクリート
選択	3	鉄骨鉄筋コンクリート	SRC	40	鉄骨鉄筋コンクリート
選択	6	コンクリート充填鋼管	CFT	45	コンクリート充填鋼管構造
選択	5	鉄骨	S	50	鉄骨
選択	4	木造	W	60	木造

④

FM Evaluation System

詳細トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

ドロップダウンリストデータ登録ページ データの更新 成功
ドロップダウンリストで使用する選択肢を登録・メンテナンスします。最初に種類の選択で、編集するドロップダウンリストの種類を選択してください。そうすると、現在の登録内容が下部の一覧表に表示されます。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **構造** 編集するドロップダウンリストの種類を選択します。 種類自体の追加・更新

選択肢キー: 新規 更新・削除 選択肢のキーNo. 正の整数値。

選択肢表示: ドロップダウンリストに表示する文字列

選択肢の値: 選択した時、データとして入力される文字列

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

選択肢の説明: 選択肢の意味・補足説明など

既存の選択肢登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記 このデータの削除を可能とする。
に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
選択	0			10	指定なし
選択	1	ブロック造	B	20	ブロック造
選択	2	鉄筋コンクリート	RC	30	鉄筋コンクリート
選択	3	鉄骨鉄筋コンクリート	SRC	40	鉄骨鉄筋コンクリート
選択	6	コンクリート充填鋼管	CFT	45	コンクリート充填鋼管構造(CFT造)
選択	5	鉄骨	S	50	鉄骨
選択	4	木造	W	60	木造

11.4 DDL選択肢の削除

DDL選択肢の削除は、以下の手順で行います。

- ① 種類の選択で、対象のDDL種類を選択します。
- ② 選択肢キー欄の右側にあるラジオボタンで、更新・削除を選択します。
- ③ 下部のリストから、削除対象の選択肢を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされます。同時に、「このデータの削除を可能とする」チェック欄が表示されます。「このデータの削除を可能とする」チェック欄をチェックします。
- ④ 項目の削除ボタンが表示されます。
- ⑤ 項目の削除ボタンをクリックして削除実行します。下部のリストから削除したレコードが消えます。

FM Evaluation System

評価トップページへ | このサイトについて | 複数建物統計 | 評価項目管理 | データ管理

ドロップダウンリストデータ登録ページ

ドロップダウンリストで使用する選択肢を登録・メンテナンスします。最初に種類の選択で、編集するドロップダウンリストの種類を選択してください。そうすると、現在の登録内容が下部の一覧表に表示されます。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **構造** | 編集するドロップダウンリストの種類を選択します。 | 種類自体の追加・更新

選択肢キー: **6** | 新規 | 更新・削除 | 選択肢のキーNo. 正の整数値。

選択肢表示: **コンクリート充填鋼管** | ドロップダウンリストに表示する文字列

選択肢の値: **CFT** | 選択した時、データとして入力される文字列

表示順: **45** | リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

選択肢の説明: **コンクリート充填鋼管構造(CFT造)** | 選択肢の意味・補足説明など

既存の選択肢登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

このデータの削除を可能とする。 | **項目の削除**

追加・更新 | **更新せずに選択解除**

選択	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
<input type="checkbox"/>	0			10	指定なし
<input type="checkbox"/>	1	ブロック造	B	20	ブロック造
<input type="checkbox"/>	2	鉄筋コンクリート	RC	30	鉄筋コンクリート
<input type="checkbox"/>	3	鉄骨鉄筋コンクリート	SRC	40	鉄骨鉄筋コンクリート
<input checked="" type="checkbox"/>	6	コンクリート充填鋼管	CFT	45	コンクリート充填鋼管構造(CFT造)
<input type="checkbox"/>	5	鉄骨	S	50	鉄骨
<input type="checkbox"/>	4	木造	W	60	木造

④ Alpha Associate Inc. 2012

ドロップダウンリストデータ登録ページ | データの削除 成功

ドロップダウンリストで使用する選択肢を登録・メンテナンスします。最初に種類の選択で、編集するドロップダウンリストの種類を選択してください。そうすると、現在の登録内容が下部の一覧表に表示されます。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **構造** | 編集するドロップダウンリストの種類を選択します。 | 種類自体の追加・更新

選択肢キー: | 新規 | 更新・削除 | 選択肢のキーNo. 正の整数値。

選択肢表示: | ドロップダウンリストに表示する文字列

選択肢の値: | 選択した時、データとして入力される文字列

表示順: | リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

選択肢の説明: | 選択肢の意味・補足説明など

既存の選択肢登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

追加・更新 | **更新せずに選択解除**

選択	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
<input type="checkbox"/>	0			10	指定なし
<input type="checkbox"/>	1	ブロック造	B	20	ブロック造
<input type="checkbox"/>	2	鉄筋コンクリート	RC	30	鉄筋コンクリート
<input type="checkbox"/>	3	鉄骨鉄筋コンクリート	SRC	40	鉄骨鉄筋コンクリート
<input type="checkbox"/>	5	鉄骨	S	50	鉄骨
<input type="checkbox"/>	4	木造	W	60	木造

④ Alpha Associate Inc. 2012

11.5 DDL選択肢登録 入力項目の説明

FM Evaluation System

評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計 評価項目管理 データ管理

ドロップダウンリストデータ登録ページ

ドロップダウンリストで使用する選択肢を登録・メンテナンスします。最初に種類の選択で、編集するドロップダウンリストの種類を選択してください。そうすると、現在の登録内容が下部の一覧表に表示されます。新規入力の場合は、入力欄に入力し、追加・更新ボタンをクリックすることで、登録できます。更新の場合、一覧表の各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、追加・更新ボタンをクリックすることで更新することができます。

種類の選択: **構造** 編集するドロップダウンリストの種類を選択します。 種類自体の追加・更新

選択肢キー: 新規 更新・削除 選択肢のキーNo。正の整数値。

選択肢表示: ドロップダウンリストに表示する文字列

選択肢の値: 選択した時、データとして入力される文字列

表示順: リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

選択肢の説明: 選択肢の意味・補足説明など

既存の選択肢登録を更新する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、追加・更新ボタンを押してください。

選択	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
<input type="button" value="選択"/>	0			10	指定なし
<input type="button" value="選択"/>	1	ブロック造	B	20	ブロック造
<input type="button" value="選択"/>	2	鉄筋コンクリート	RC	30	鉄筋コンクリート
<input type="button" value="選択"/>	3	鉄骨鉄筋コンクリート	SRC	40	鉄骨鉄筋コンクリート
<input type="button" value="選択"/>	5	鉄骨	S	50	鉄骨
<input type="button" value="選択"/>	4	木造	W	60	木造

©Alpha Associate Inc. 2012

選択肢キー

選択肢のキーです。0以上の整数値で設定します。ユニークである必要があります。

選択肢表示

選択肢表示は、ドロップダウンリストを開いた時の選択肢表示に使用されます。入力するデータの意味を明瞭に指し示す簡潔な表示としてください。

選択肢の値

選択した時に、実際にデータに入力される値です。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

選択肢の説明

選択肢の説明です。簡潔な表示名では不足する選択肢内容の説明を入力します。

11.6 DDL種類の新規登録・更新・削除

リザーブカラムを使用して、新しい建物属性フィールドを追加した時、新しいドロップダウンリストを作成したい場合があります。それには、まず、新しいDDL種類を作成します。その上で、前頁まで述べてきた手順でDDL選択肢を定義すればいいわけです。DDL種類の新規登録は、以下の手順で行います。

- ① 「種類自体の追加・更新」にチェックマークを入れます。下部のリストに、DDL種類自体が、選択肢として、リストされます。以下、前頁までの選択肢の新規追加・更新・削除と同様の方法にて、DDL種類の追加・更新・削除を行えます。ただし、以下の点ご注意ください。新規追加の場合、選択肢キーは、100以上の数値をご使用ください。99以下の場合、システムが使用している非表示のDDL種類と重なってしまい、追加できない場合があります。「選択肢の値」はDDL種類では使用しませんので、入力不要です。既に選択肢登録のあるDDL種類を誤って削除しないよう、ご注意ください。

種類自体の追加・更新

選択肢キー: 100

選択肢表示: 要不要

表示順: 40

種類: 構造

種類自体の追加・更新

追加・更新

更新せずに選択解除

選択肢	選択肢キー	選択肢表示	選択肢の値	表示順	選択肢の説明
選択肢	1	構造	10		建物構造表示
選択肢	3	有無	30		有無の選択
選択肢	100	要不要	40		要か不要かの選択

- ② 「種類自体の追加・更新」のチェックマークを外し、「種類の選択」をプルダウンすると追加したDDL種類が表示され選択できるようになります。以下、選択肢の新規登録を行えば、リザーブカラムの使用登録で表示DDLとして使用できます。

種類: 無選択

種類自体の追加・更新

要不要

12. セッション定数メンテナンス

セッション定数とは、セッションごとに保管するデフォルトの値などの設定値です。ログイン後セッション選択をした時点で、自動的に読み込まれます。ここでは、セッション定数の更新の仕方をご説明します。

12.1 セッション定数メンテナンスページの表示

セッション定数メンテナンスページは、以下の手順で表示します。

- ① メニューのデータ管理をクリックし、セッション定数メンテナンスをクリックします。



- ② セッション定数メンテナンスページが表示されます。

下部の一覧画面に登録されているセッション定数のリストが表示され、設定内容が表示されています。



12.2 セッション定数の更新

セッション定数は更新のみ可能です。以下の手順で行います。

- ① 下部のリストから、更新対象のセッション定数を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、「定数の値」を修正入力します。なお、「定数の値」欄を修正する時、許される値やデータ型に十分ご注意ください。誤った値を入力すると、システムの動作エラーにつながる場合があります。
- ② 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

セッション定数設定ページ

対象セッション： サンプルカンパニー | サンプル評価データコピート用
 セッションごとに設定する定数や値をメンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。修正結果の反映には、再ログインするか、トップページの「セッション変更へ」ボタンでのセッションの再選択が必要です。

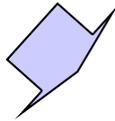
定数タイプ: string (定数・固定情報の型)
 定数表示名: セッションのリターンUrl (定数・固定情報の名称)
 定数の値: http://www.alpha-associate.com/ (定数・固定情報の値・内容)
 説明: このセッション用のHP Url (入力内容・データタイプの説明)
 表示順: 1100 (リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。)
 定数表示名英文: (英文の定数・固定情報の名称)
 定数の値英文: (英文の定数・固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。)
 説明英文: (英文の入力内容・データタイプの説明)

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新 **更新せずに選択解除**

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	CommentUnvisible	string	Y	評価時コメント隠非表示	Y = 非表示。それ以外の場合、表示する。	0			
<input type="checkbox"/>	SessionHelpDeskMailAddress	string	helpdesk@alpha-associate.com	セッションのヘルプデスクメールアドレス	このセッション用のヘルプデスクメールアドレス	1000			
<input checked="" type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	セッションのリターンUrl	このセッション用のHP Url	1100			
<input type="checkbox"/>	FacilityIDDefault	int	2	デフォルト建物ID	セッションスタート時に表示する建物	1200			
<input type="checkbox"/>	UseContractPdf	string	Y	団体標準PDFを使用するか?	使用する=Y、使用しない=Y以外すべて	2000			
<input type="checkbox"/>	ContractPdfESNo	int	-1	使用するPDFの有るセッションNo	使用しないとき=-1、団体内の他のセッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2100			
<input type="checkbox"/>	UseSystemPdf	string	Y	システム標準PDFを使用するか?	使用する=Y、使用しない=Y以外すべて	2200			
<input type="checkbox"/>	SystemPdfESNo	int	-1	使用するPDFの有るサンプルユニット外のセッションNo	使用しない時=-1、サンプルユニット外の特定セッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2300			

©Alpha Associate Inc. 2012



セッション定数設定ページ **データの更新 成功**

対象セッション： サンプルカンパニー | サンプル評価データコピート用
 セッションごとに設定する定数や値をメンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左側の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。修正結果の反映には、再ログインするか、トップページの「セッション変更へ」ボタンでのセッションの再選択が必要です。

定数タイプ: string (定数・固定情報の型)
 定数表示名: (定数・固定情報の名称)
 定数の値: (定数・固定情報の値・内容)
 説明: (入力内容・データタイプの説明)
 表示順: (リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。)
 定数表示名英文: (英文の定数・固定情報の名称)
 定数の値英文: (英文の定数・固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。)
 説明英文: (英文の入力内容・データタイプの説明)

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新 **更新せずに選択解除**

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input checked="" type="checkbox"/>	CommentUnvisible	string	Y	評価時コメント隠非表示	Y = 非表示。それ以外の場合、表示する。	0			
<input type="checkbox"/>	SessionHelpDeskMailAddress	string	helpdesk@alpha-associate.com	セッションのヘルプデスクメールアドレス	このセッション用のヘルプデスクメールアドレス	1000			
<input checked="" type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	セッションのリターンUrl	このセッション用のHP Url	1100			
<input type="checkbox"/>	FacilityIDDefault	int	2	デフォルト建物ID	セッションスタート時に表示する建物	1200			
<input type="checkbox"/>	UseContractPdf	string	Y	団体標準PDFを使用するか?	使用する=Y、使用しない=Y以外すべて	2000			
<input type="checkbox"/>	ContractPdfESNo	int	-1	使用するPDFの有るセッションNo	使用しないとき=-1、団体内の他のセッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2100			
<input type="checkbox"/>	UseSystemPdf	string	Y	システム標準PDFを使用するか?	使用する=Y、使用しない=Y以外すべて	2200			
<input type="checkbox"/>	SystemPdfESNo	int	-1	使用するPDFの有るサンプルユニット外のセッションNo	使用しない時=-1、サンプルユニット外の特定セッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2300			

©Alpha Associate Inc. 2012

12.3 セッション定数 入力項目の説明

FM Evaluation System

[評価トップページへ](#) [このサイトについて](#) [複数建物統計](#) [評価項目管理](#) [データ管理](#)

セッション定数設定ページ
 対象セッション: サンプルカンパニー | サンプル評価データコピーテスト用
 セッションごとに設定する定数や値をメンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力域に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。修正結果の反映には、再ログインするか、トップページの「セッション変更へ」ボタンでのセッションの再選択が必要です。

定数タイプ

定数表示名

定数の値

説明

表示順

定数表示名英文

定数の値英文

説明英文

定数: 固定情報の型

定数: 固定情報の名称

定数: 固定情報の値・内容

入力内容: データタイプの説明

リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

英文の定数: 固定情報の名称

英文の定数: 固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。

英文の、入力内容: データタイプの説明

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新
 更新せずに選択解除

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	CommentUnvisible	string	Y	評価時コメント欄非表示	Y = 非表示、それ以外の時、表示する。	0			
<input type="checkbox"/>	SessionHelpDeskMailAddress	string	t-morino@gamma.ocn.ne.jp	セッションのヘルプメールアドレス	このセッション用のヘルプメールアドレス	1000			
<input type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	セッションのリターンUrl	このセッション用のHP Url	1100			
<input type="checkbox"/>	FacilityIDDefault	int	2	デフォルト建物ID	セッションスタート時に表示する建物	1200			
<input type="checkbox"/>	UseContractPdf	string	Y	団体標準PDFを使用するか?	使用する= Y, 使用しない= Y以外すべて	2000			
<input type="checkbox"/>	ContractPdfSNo	int	-1	使用するPDFの有るセッションNo	使用しないとき=-1, 団体内の他のセッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2100			
<input type="checkbox"/>	UseSystemPdf	string	Y	システム標準PDFを使用するか?	使用する= Y, 使用しない= Y以外すべて	2200			
<input type="checkbox"/>	SystemPdfSNo	int	-1	使用するPDFがあるサンプルストラクチャのセッションNo	使用しない時=-1, サンプルストラクチャの特定セッションのPDFを使用する時、そのセッションNo	2300			

©Alpha Associate Inc, 2012

定数キー (下部リストにのみ表示)

セッション定数のキーです。システムによって設定されています。変更できません。

定数タイプ

定数の値がシステムに読み込まれた後、どのようなデータ型として取り扱われるか、を示します。

定数表示名

定数の名称です。

定数の値

定数の値です。説明をよく読み、許される値を指定されている形式で、正確に入力します。この項目のみ更新できます。

説明

定数の説明です。入力時の許される値、データの形式など。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておくで、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

12.4 個々のセッション定数の意味

SessionHelpDeskMailAddress セッションのヘルプメールアドレス

FM評価実行時に、ヘルプデスクを置いた場合の、メールアドレスです。
この機能は、現在まだ実装されていません。

ReturnHPUrl セッションのリターンUrl

ログインキャンセルなど、行き先を指定せずに本システムのページから外に出たときの、デフォルトの行き先Urlです。

FacilityIDDefault デフォルト建物ID

本システムへのログイン後セッションを選択し、最初にトップページを表示する時に、デフォルトで表示する建物のIDです。

CommentUnvisible 評価時コメント欄非表示

個々の評価項目への評価実行画面にコメント入力欄を表示し、評価者のコメントを入力できるようにすることが可能です。この機能を使用するかどうかの設定です。
半角英字で Y と入力すると、コメント入力欄を非表示とします。
それ以外の値の場合は、コメント入力欄を表示します。

UseContractPdf 団体標準PDFを使用するか? 次ページも参照

団体標準としてアップロードしたPDFの表示をこのセッションで使用するかどうかの設定です。半角英字で Y と入力すると、使用します。その場合、セッション指定のPDFが無く、他のセッションNo指定のPDFもない場合、団体標準PDFが使用されます。Y 以外の値の場合、団体標準PDFが有っても表示しません。

ContractPdfSNo 使用するPDFの有るセッションNo 次ページも参照

団体の特定のセッションに登録されているPDFを、このセッションで使用する場合は該当セッションのセッションNoを指定します。使用しない時= -1。このセッション指定のPDFが無い場合に、使用されます。

UseSystemPdf システム標準PDFを使用するか? 次ページも参照

システム標準としてアップロードしたPDFの表示をこのセッションで使用するかどうかの設定です。半角英字で Y と入力すると、使用します。その場合、セッション指定のPDFが無く、他のセッションNo指定のPDFも無く、団体標準PDFも無く、セッションNo指定のサンプルコントラクトPDFも無い場合、システム標準PDFが使用されます。。Y 以外の値の場合、システム標準PDFが有っても表示しません。

SystemPdfSNo 使用するPDFが有るサンプルコントラクトのセッションNo 次ページも参照

サンプルコントラクトの特定のセッションに登録されているPDFを、このセッションで使用する時、該当セッションのセッションNoを指定します。使用しない時= -1。このセッション指定のPDFが無く、セッションNo指定の団体標準PDFも無く、団体標準PDFも無い場合に、使用されます。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

註： 詳細説明PDF表示の優先順位とセッション定数の関係

詳細説明PDFは、セッション定数との関係で、以下のような優先順位により検索されて、表示されます。

1. 現在のセッションの選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。なければ、
2. 定数ContractPdfSNoが -1 でない時、定数ContractPdfSNoで指定しているセッションの選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。なければ、
3. 定数UseContractPdf=Y の時、団体標準として、選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。なければ、
4. 定数SystemPdfSNoが -1 でない時、定数SystemPdfSNoで指定しているサンプルコントロールのセッションの選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。なければ、
5. 定数UseSystemPdf=Y の時、システム標準として、選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。
6. それでもなければ、表示しません。

いくつかの典型的なケースをご紹介します。

ケース①：JFMES11 の評価項目体系用のPDFは、システム標準として、登録されています。通常、JFMES11 の評価項目体系をそのまま使用する新規セッションAを作成した場合、上記の1～4は全て無しとなり、5に従って、JFMES11 の評価項目体系用のPDFが選択され、表示されます。

ケース②：団体により、JFMES11 の評価項目体系を修正して使用するときは、通常、団体標準のPDFとして、内容修正した評価項目用のPDFをアップロードします。そうすることで、上記3により、団体内のセッションAをはじめとする全セッションで共通の団体独自のPDFを使用することができます。（内容修正しない評価項目に関しては、PDFアップロードをしなければ、上記5により、システム標準であるJFMES11 のPDFが表示されます。）

ケース③：時代の変化等により、特定の評価項目について、新しいセッションBでは今までとは異なる内容の評価項目を採用した場合には、そのセッションB用にPDFをアップロードすることで、上記1により、そのPDFが表示されます。

ケース④：その後のセッションCで、セッションBの、変更後のPDFを使用したい場合は、セッションCのセッション定数で、セッションBを「使用するPDFがあるセッション」として設定しておくことで、上記2により、そのPDFが表示されます。

このように、本システムでは、詳細説明用のPDF検索優先順位を階層化することで、団体やセッションごとに、同じPDFを多数登録する手間と無駄を排除しています。この機能を上手に使い、団体に最も適した評価項目体系と詳細説明PDFを使用して、効率のより評価を実施してください。

なお、PDFアップロードの詳細に関しては、「管理者マニュアル評価項目管理編」をご参照ください。

13. 団体定数メンテナンス

団体定数とは、団体ごとに保管するデフォルトの値などの設定値です。ログイン後、自動的に読み込まれます。

ここでは、団体定数の更新の仕方をご説明します。

13.1 団体定数メンテナンスページの表示

団体定数メンテナンスページは、以下の手順で表示します。

- ① メニューのデータ管理をクリックし、団体定数メンテナンスをクリックします。



- ② 団体定数メンテナンスページが表示されます。

下部の一覧画面に登録されている団体定数のリストが表示され、設定内容が表示されています。



13.2 団体定数の更新

団体定数は更新のみ可能です。以下の手順で行います。

- ① 下部のリストから、更新対象の団体定数を選択すると、上部の入力フィールドに内容がコピーされますので、その後、修正するフィールドを修正入力します。なお、「定数の値」欄を修正する場合は、許される値やデータ型に十分ご注意ください。誤った値を入力すると、システムの動作エラーにつながる場合があります。
- ② 追加・更新ボタンをクリックして登録します。
更新された内容は、下部のリストに表示されます。

団体定数設定ページ

団体ごとに設定する定数や値を入力・テナランスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。

定数タイプ: string (固定情報の型)

定数表示名: 戻り先HPのUrl (固定情報の名称)

定数の値: http://www.alpha-associate.com/ (固定情報の値・内容)

説明: ログイン不可などの場合の戻り先 (入力内容・データタイプの説明)

表示順: 1150 (リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。)

定数表示名英文: (英文の定数・固定情報の名称)

定数の値英文: (英文の定数・固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。)

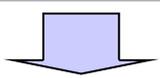
説明英文: (英文の入力内容・データタイプの説明)

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input checked="" type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	戻り先HPのUrl	ログイン不可などの場合の戻り先	1000			
<input type="checkbox"/>	HelpDeskMailAddress	string	nocontact@alpha-associate.com	ヘルプデスクメールアドレス	ユーザーの質問に答える担当者のメールアドレス	1100			
<input type="checkbox"/>	SessionNow	int	0	現行セッション	デフォルトのセッションNoの指定。セッション指定画面でデフォルトで選択表示される。	2000			
<input type="checkbox"/>	UseNormalPdfs	string	Y	評価項目詳細PDFとして標準のpdfセット(ContractNo=0)を使用するか。	Y=使用する。それ以外はこのコントラクトのContractNoを使用したpdfファイルを使用する。	3000			
<input type="checkbox"/>	VisitorPassword	string	vis	閲覧者パスワード	統計参照のみ	6000			
<input type="checkbox"/>	EvaluatorPassword	string	eva	評価者パスワード	統計参照と評価実行	6100			
<input type="checkbox"/>	AdminPassword	string	adm	管理者パスワード	コントラクトの新設以外すべて	6200			

©Alpha Associate Inc. 2012



団体定数設定ページ **データの更新 成功**

団体ごとに設定する定数や値を入力・テナランスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。

定数タイプ: (固定情報の型)

定数表示名: (固定情報の名称)

定数の値: (固定情報の値・内容)

説明: (入力内容・データタイプの説明)

表示順: (リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。)

定数表示名英文: (英文の定数・固定情報の名称)

定数の値英文: (英文の定数・固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。)

説明英文: (英文の入力内容・データタイプの説明)

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input checked="" type="checkbox"/>	HelpDeskMailAddress	string	nocontact@alpha-associate.com	ヘルプデスクメールアドレス	ユーザーの質問に答える担当者のメールアドレス	1100			
<input type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	戻り先HPのUrl	ログイン不可などの場合の戻り先	1150			
<input type="checkbox"/>	SessionNow	int	0	現行セッション	デフォルトのセッションNoの指定。セッション指定画面でデフォルトで選択表示される。	2000			
<input type="checkbox"/>	UseNormalPdfs	string	Y	評価項目詳細PDFとして標準のpdfセット(ContractNo=0)を使用するか。	Y=使用する。それ以外はこのコントラクトのContractNoを使用したpdfファイルを使用する。	3000			
<input type="checkbox"/>	VisitorPassword	string	vis	閲覧者パスワード	統計参照のみ	6000			
<input type="checkbox"/>	EvaluatorPassword	string	eva	評価者パスワード	統計参照と評価実行	6100			
<input type="checkbox"/>	AdminPassword	string	adm	管理者パスワード	コントラクトの新設以外すべて	6200			

©Alpha Associate Inc. 2012

13.3 団体定数 入力項目の説明

FM Evaluation System

評価トップページへ
このサイトについて
複数建物統計
評価項目管理
データ管理

団体定数設定ページ
 対象団体: サンプルカンパニー
 団体ごとに設定する定数や値をメンテナンスします。現在の設定内容が下部の一覧表に表示されています。各行の左端の選択ボタンを押すと、上部の入力欄に読み込まれますので、修正して、更新ボタンをクリックすることで編集することができます。修正結果の多くは、再ログイン後に反映されます。

定数タイプ

定数表示名

定数の値

説明

表示順

定数表示名英文

定数の値英文

説明英文

定数・固定情報の型

定数・固定情報の名称

定数・固定情報の値・内容

入力内容・データタイプの説明

リスト表示の順番。正の整数値。小さい値が前。

英文の定数・固定情報の名称

英文の定数・固定情報の値。英文が必要なもののみ設定する。

英文の、入力内容・データタイプの説明

登録されている定数値を変更する場合は、以下のリストの該当する項目を選択し、上記に表示した上で、修正し、更新ボタンを押してください。

更新
更新せずに選択解除

選択	定数キー	データタイプ	定数値	定数表示名	説明	表示順	定数値英文	定数表示名英文	説明英文
<input type="checkbox"/>	HelpDeskMailAddress	string	morimoto@alpha-associate.com	ヘルプデスクメールアドレス	ユーザーの質問に答える担当者のメールアドレス	1100			
<input type="checkbox"/>	ReturnHPUrl	string	http://www.alpha-associate.com/	戻り先HPのUrl	ログイン不可などの場合の戻り先	1150			
<input type="checkbox"/>	SessionNow	int	0	現行セッション	デフォルトのセッションNoの指定。セッション指定画面でデフォルトで選択表示される。	2000			
<input type="checkbox"/>	VisitorPassword	string	vis	閲覧者パスワード	統計参照のみ	6000			
<input type="checkbox"/>	EvaluatorPassword	string	eva	評価者パスワード	統計参照と評価実行	6100			
<input type="checkbox"/>	AdminPassword	string	adm	管理者パスワード	コントラクトの新設以外すべて	6200			

©Alpha Associate Inc. 2012

定数キー

団体定数のキーです。システムによって設定されています。変更できません。

定数タイプ

定数の値がシステムに読み込まれた後、どのようなデータ型として取り扱われるか、を示します。

定数表示名

定数の名称です。

定数の値

定数の値です。説明をよく読み、許される値を指定されている形式で、正確に入力します。この項目のみ更新できます。

説明

定数の説明です。入力時の許される値、データの形式など。

表示順

下部のリストをはじめとして、リスト表示する時の、表示順です。この値の昇順に表示します。最初は、100番飛ばしぐらいでセットしておく、将来、間に表示したい場合、便利です。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

13.4 個々の団体定数の意味

ヘルプデスクメールアドレス

FM評価実行時に、ヘルプデスクを置いた場合の、メールアドレスです。
この機能は、現在まだ実装されていません。

戻り先HPのURL

ログインキャンセルなど、行き先を指定せずに本システムのページから外に出たときの、デフォルトの行き先URLです。一般的には、団体のHPなど。

現行セッション

本システムへのログイン後のセッション選択画面で、セッション選択ドロップダウンリストにデフォルトで表示するセッションのセッションNoです。通常は最新のセッションを指定しておきます。0以上の整数値です。

閲覧者パスワード

本システムへのログイン時のパスワードの一つです。閲覧のみ出来る人用のパスワードです。評価の入力はできません。サンプルデータでは簡単なパスワードを設定してありますが、実際の運用時は、必要とするセキュリティレベルに応じた複雑さのパスワード設定としてください。

評価者パスワード

本システムへのログイン時のパスワードの一つです。評価入力出来る人用のパスワードです。評価項目自体の編集や管理はできません。サンプルデータでは簡単なパスワードを設定してありますが、実際の運用時は、必要とするセキュリティレベルに応じた複雑さのパスワード設定としてください。

管理者パスワード

本システムへのログイン時のパスワードの一つです。評価入力および評価項目自体の追加・更新やデータ管理も出来る人用のパスワードです。サンプルデータでは簡単なパスワードを設定してありますが、実際の運用時は、必要とするセキュリティレベルに応じた複雑さのパスワード設定としてください。また、このパスワードは、少数の本システム管理者のみで共有し、他に漏洩せず、かつ、定期的に変更されることをお奨めします。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

1 4 . 結 び

管理者のみが使用できるFM評価システムの機能のうち、データ管理機能をご説明いたしました。団体が管理するファシリティは時間とともに、増減します。また、管理上必要な属性項目も変化します。それらをメンテナンスしながら、定期的に評価セッションを実行するためのデータ管理の仕方をご説明いたしました。実際に管理業務でご活用いただければ幸いです。

なお、評価項目管理に関しては、管理者マニュアル 評価項目管理編 をご参照ください。

FM評価システム開発チーム 一同